

小中一貫教育等についての実態調査の結果(施設関係抜粋版)

1. 調査の目的

小中一貫教育等の実態を調査し、今後の小中一貫教育の制度化及びその推進方策並びに小中連携の一層の高度化方策の検討に資する基礎資料を得る。

本調査における小中連携教育・小中一貫教育の定義

小中連携教育: 小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

小中一貫教育: 小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

2. 調査時点

平成26年5月1日

3. 調査の対象及び調査事項

対 象: 全都道府県、全市区町村、小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校

調査事項: 小中一貫教育の推進状況、ねらい、取組状況等を調査

施設関係目次（※一部追加集計）

■ 市区町村調査

- ・小中一貫教育、小中連携教育の実施状況【1】
- ・小中一貫教育推進の主なねらい【1】
- ・小中一貫教育実施市区町村の人口規模【2】
- ・市区町村域内での小中一貫教育の実施割合【2】
- ・小中一貫教育の取組に含まれる学校の構成【3】
- ・複数校で小中一貫教育に取り組む場合の課題とその解消策【3】
- ・小中一貫教育校と学校選択制との関係【4】
- ・国に期待している取組【4】

■ 学校調査

- ・小中一貫教育推進の主なねらい【5】
- ・小中一貫教育開始からの経過年数【5】
- ・校舎設置状況【6】

- ・施設形態別 学級数分布【7】
- ・小中一貫教育を行う上での施設やスペースの整備状況【7】
- ・小中一貫教育を行う上での校舎の整備状況【8】
- ・施設形態ごとの校舎の整備状況【8】
- ・整備を実施した事例【9】
- ・施設形態ごとの施設面での工夫【9】
- ・施設形態ごとの施設面での課題【10】

※実態調査結果を踏まえ、追加集計

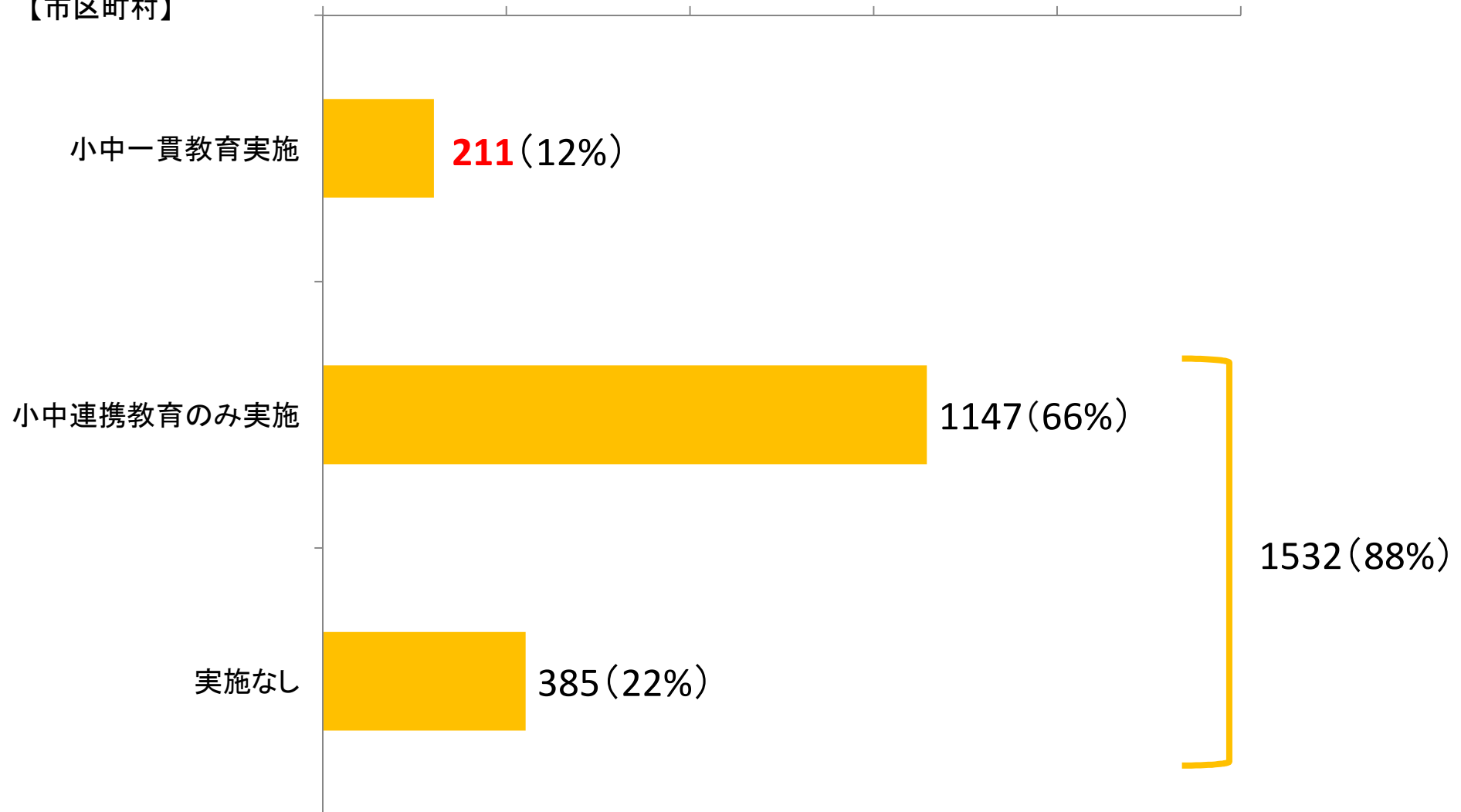
- ・校長の体制【10】
- ・国に期待する取組【11】

■ クロス分析

- 施設形態 × 小中一貫教育の成果【12】
- 施設形態 × 小中一貫教育の課題【20】

小中一貫教育、小中連携教育の実施状況

【市区町村】



N=1743(全市区町村)

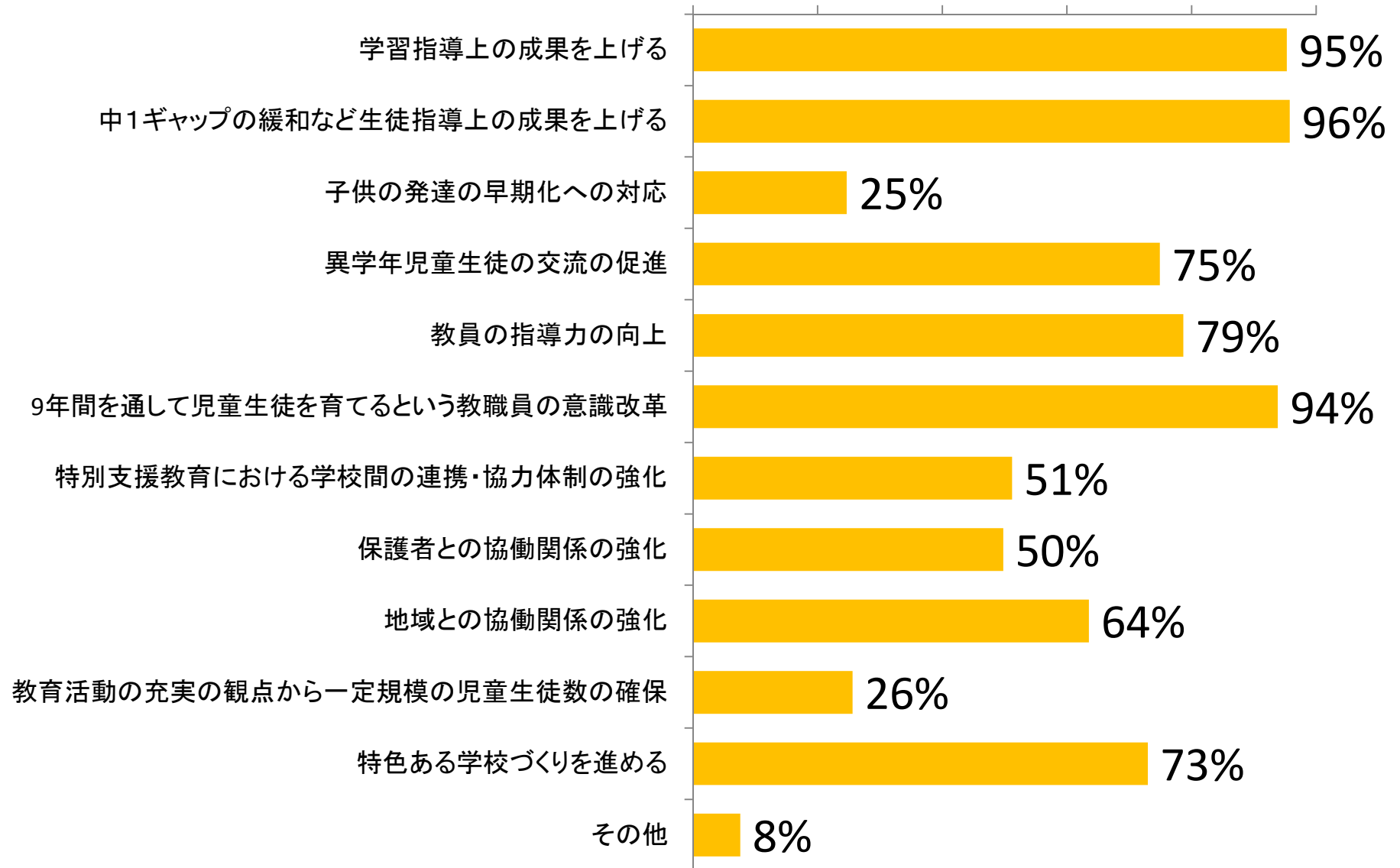
本調査における小中連携教育・小中一貫教育の定義

小中連携教育: 小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

小中一貫教育: 小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

小中一貫教育推進の主なねらい

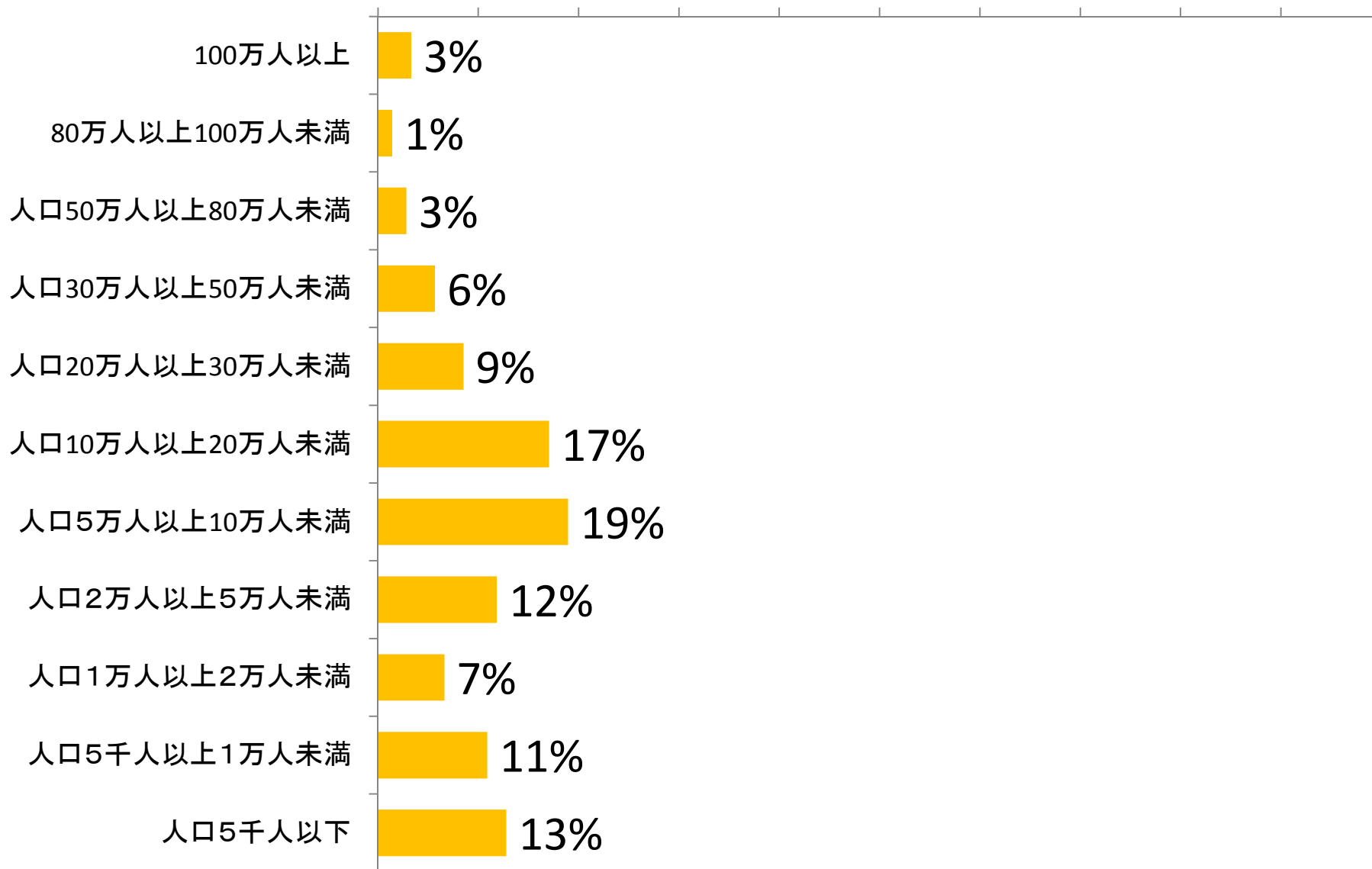
【市区町村】



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育実施市区町村の人口規模

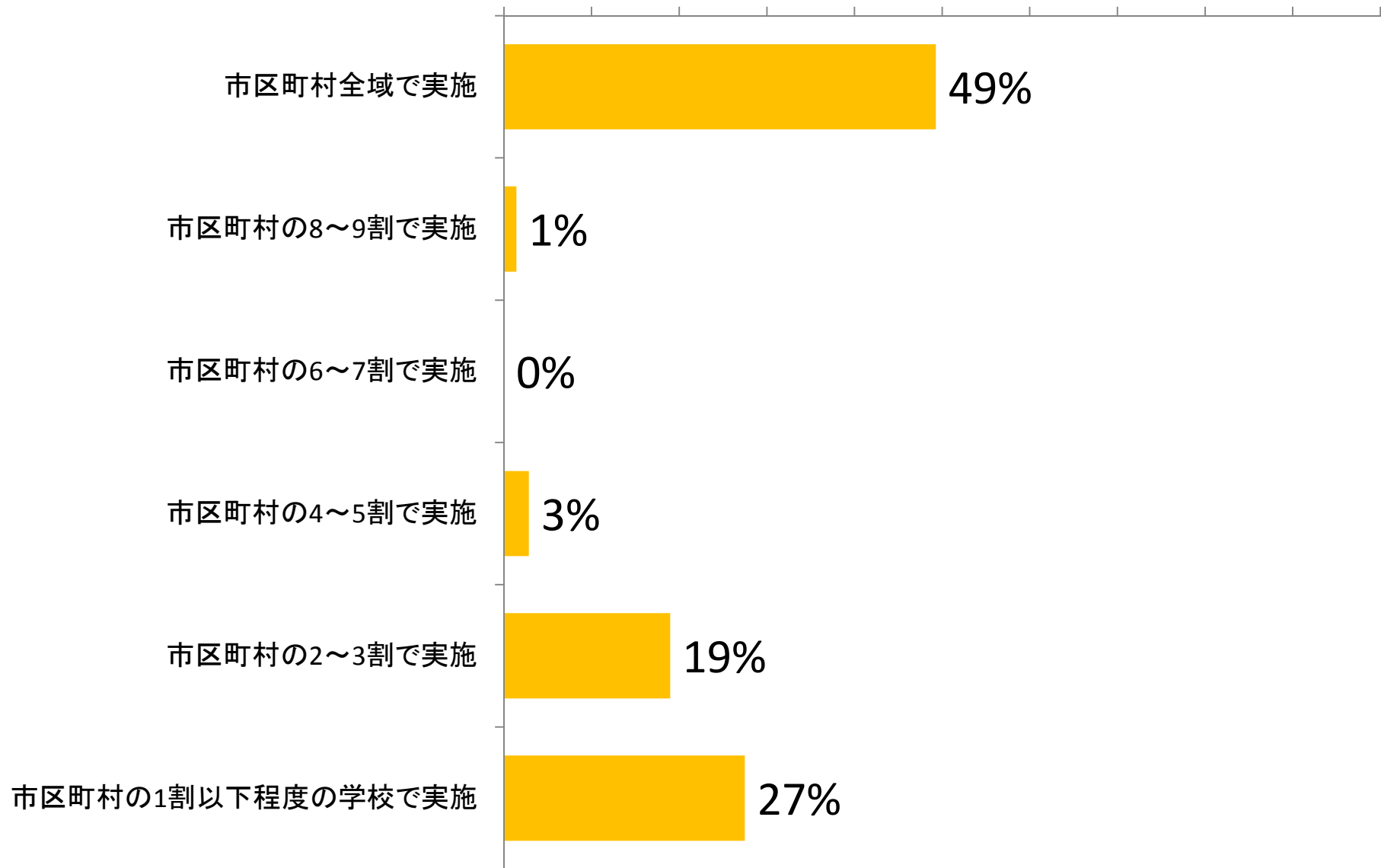
【市区町村】



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

市区町村域内での小中一貫教育の実施割合

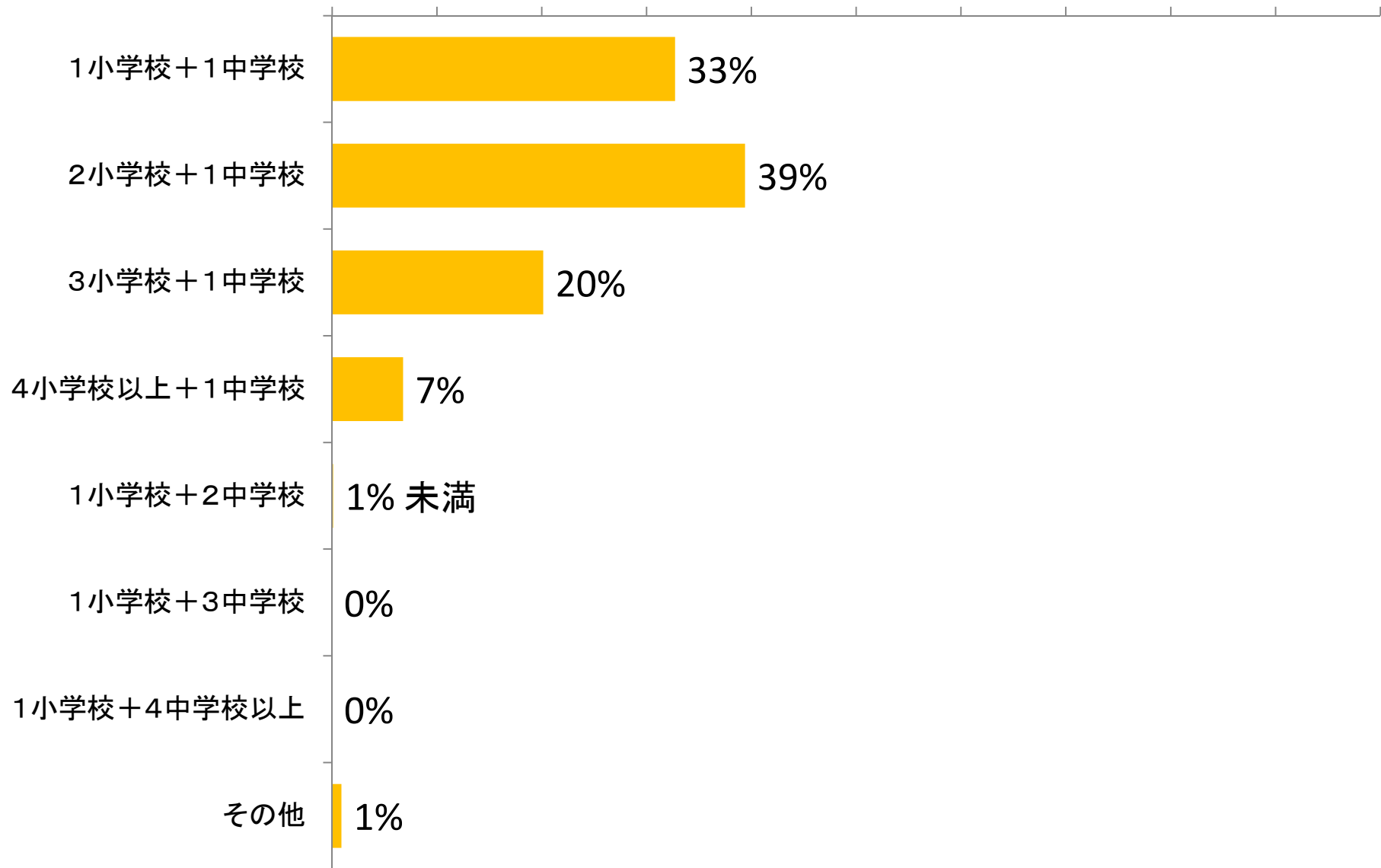
【市区町村】



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の取組に含まれる学校の構成

【市区町村】



N=1122(小中一貫教育実施件数)

複数校で小中一貫教育に取り組む場合の課題とその解消策

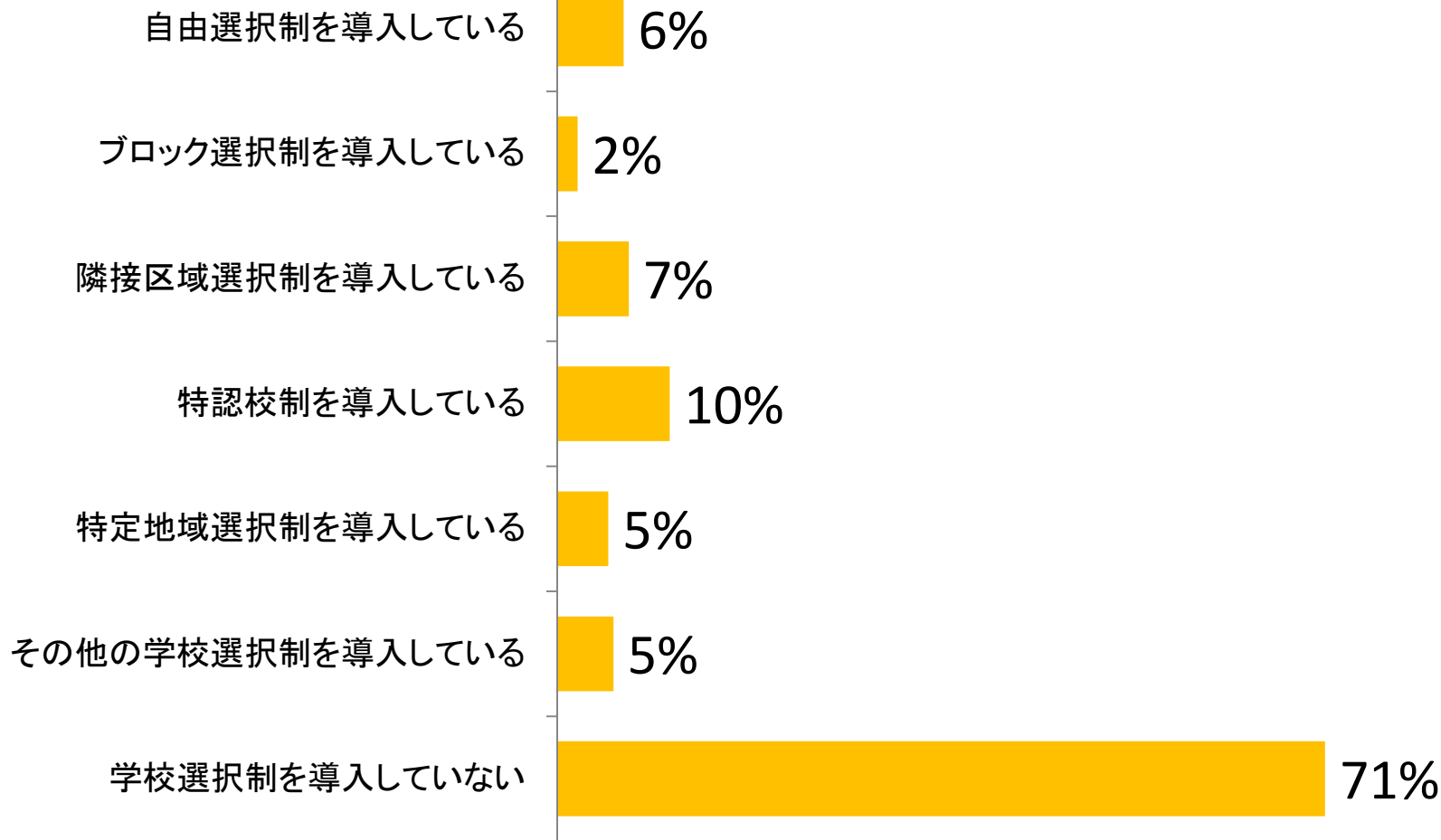
【市区町村】

課題	課題解消のための工夫(主なもの)
分割校(※)に伴う課題 (進学先の複数の中学校のどちらと連携をとるかなど)	<ul style="list-style-type: none">・分割校の小中一貫教育担当が2つの中学校区の一貫教育推進協議会に参加・コーディネーターの配置・2中学校を同一の小中一貫教育に位置付け・可能な限り両方の中学校区の実施・校区再編の検討
複数の小学校間の取組の差異	<ul style="list-style-type: none">・学区の共通の目標等を明示したグランドデザインの作成・学校評議員の合同組織を立ち上げて教育内容の共通化の検討を行う・合同の会議、情報交換会、研修会の実施・コーディネーターの配置
学校間が遠距離となることに伴う、交流のための移動手段・時間の確保	<ul style="list-style-type: none">・スクールバスの活用・バス代等について予算措置・テレビ会議システムの活用・コーディネーターを中心として調整を行う・中学校区でカレンダーを作り、年間計画にあらかじめ交流の日を位置付けて計画的に実施

※分割校:一つの小学校から複数の中学校に分かれて進学することとなる小学校

小中一貫教育校と学校選択制との関係

【市区町村】



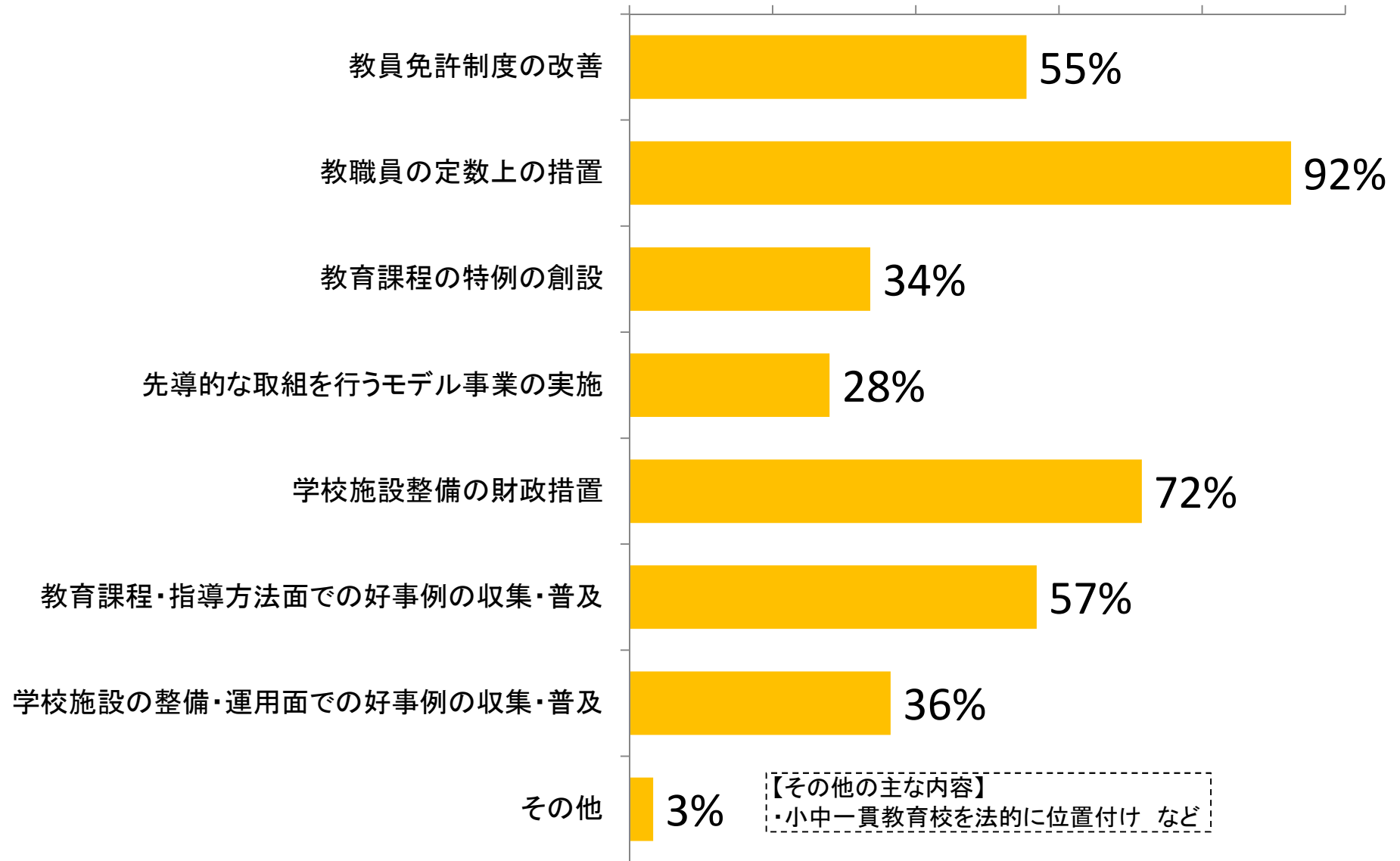
N=211(小中一貫教育実施市区町村)

【参考:学校選択制の種類】

- | | |
|---------|--|
| 自由選択制 | 当該市町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学を認めるもの |
| ブロック選択制 | 当該市町村内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの |
| 隣接区域選択制 | 従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの |
| 特認校制 | 従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの |
| 特定地域選択制 | 従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認めるもの |

国に期待している取組

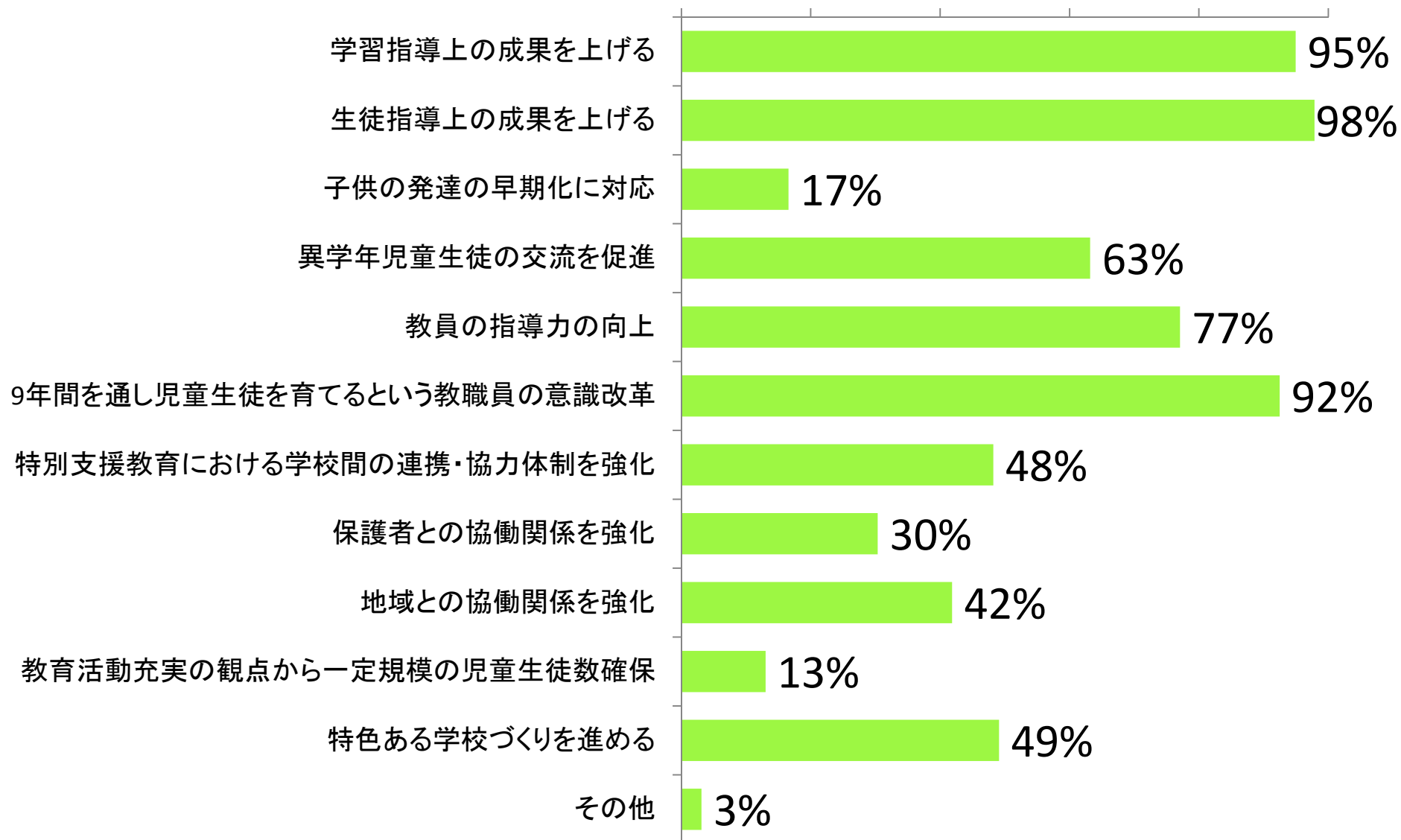
【市区町村】



N=211

小中一貫教育の主なねらい

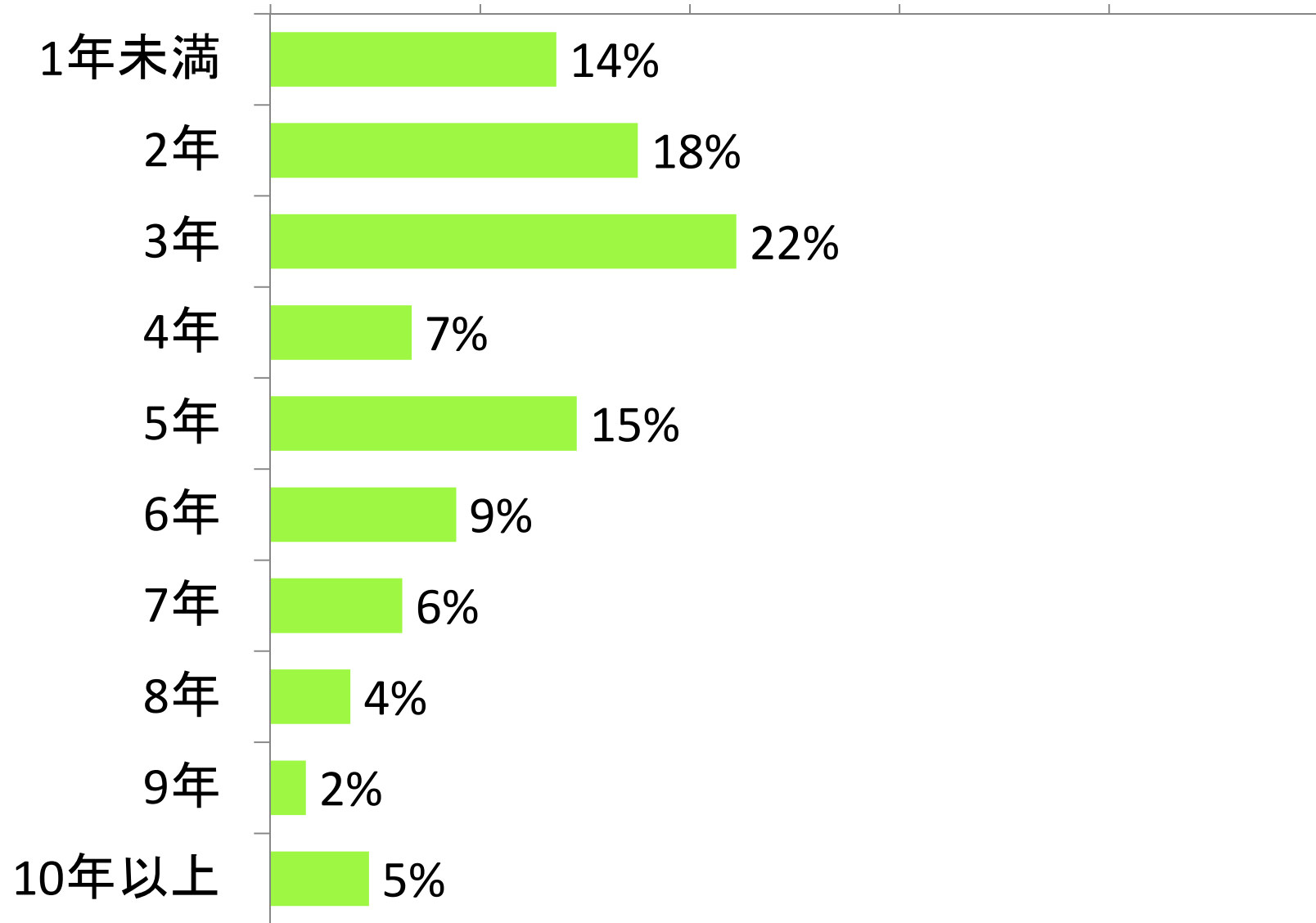
【小中一貫教育を行う学校】



N=1130(小中一貫教育実施件数)

小中一貫教育開始からの経過年数

【小中一貫教育を行う学校】



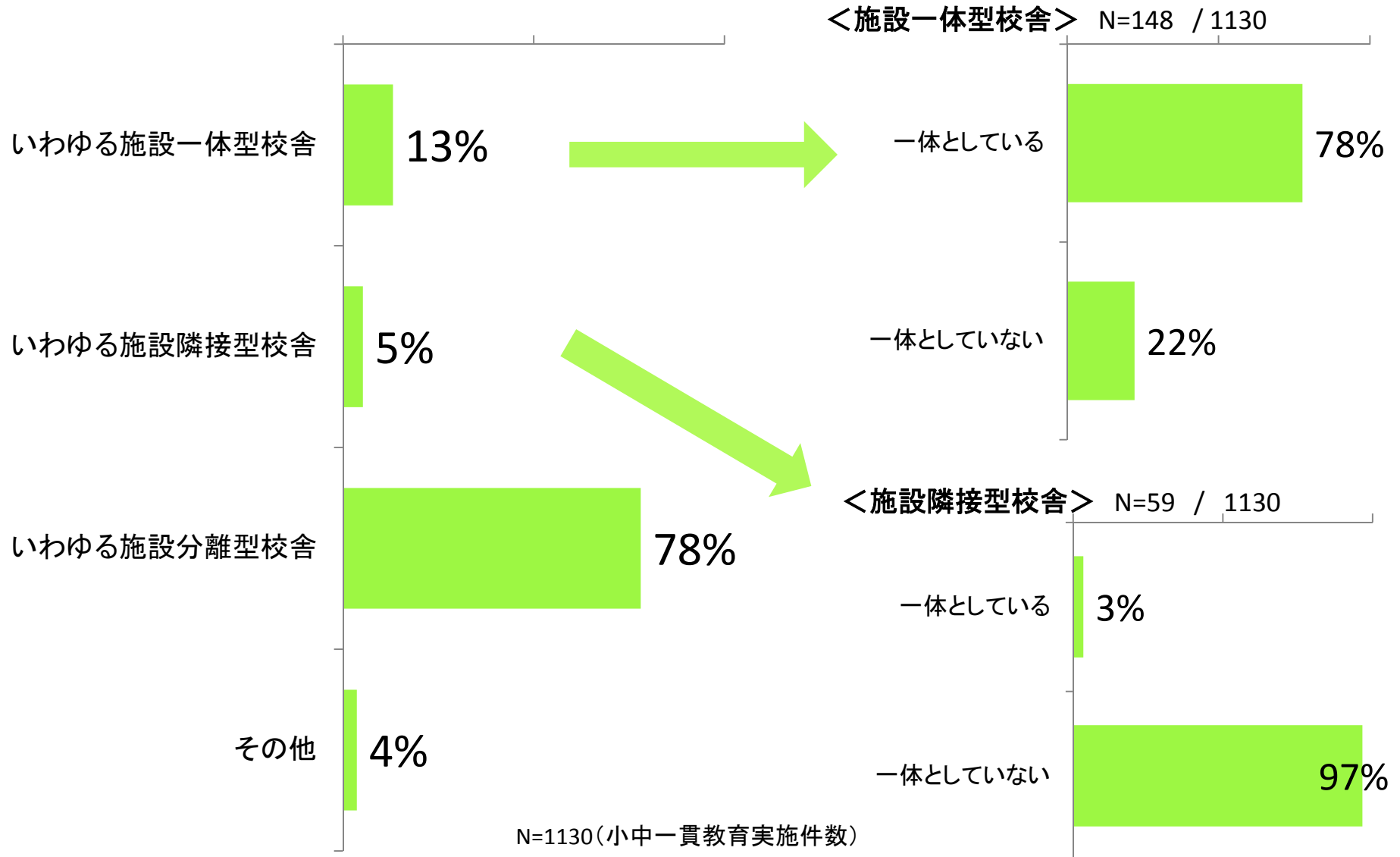
N=1130(小中一貫教育実施件数)

校舎設置状況

【小中一貫教育を行う学校】

校舎設置状況

職員室を一体化しているか



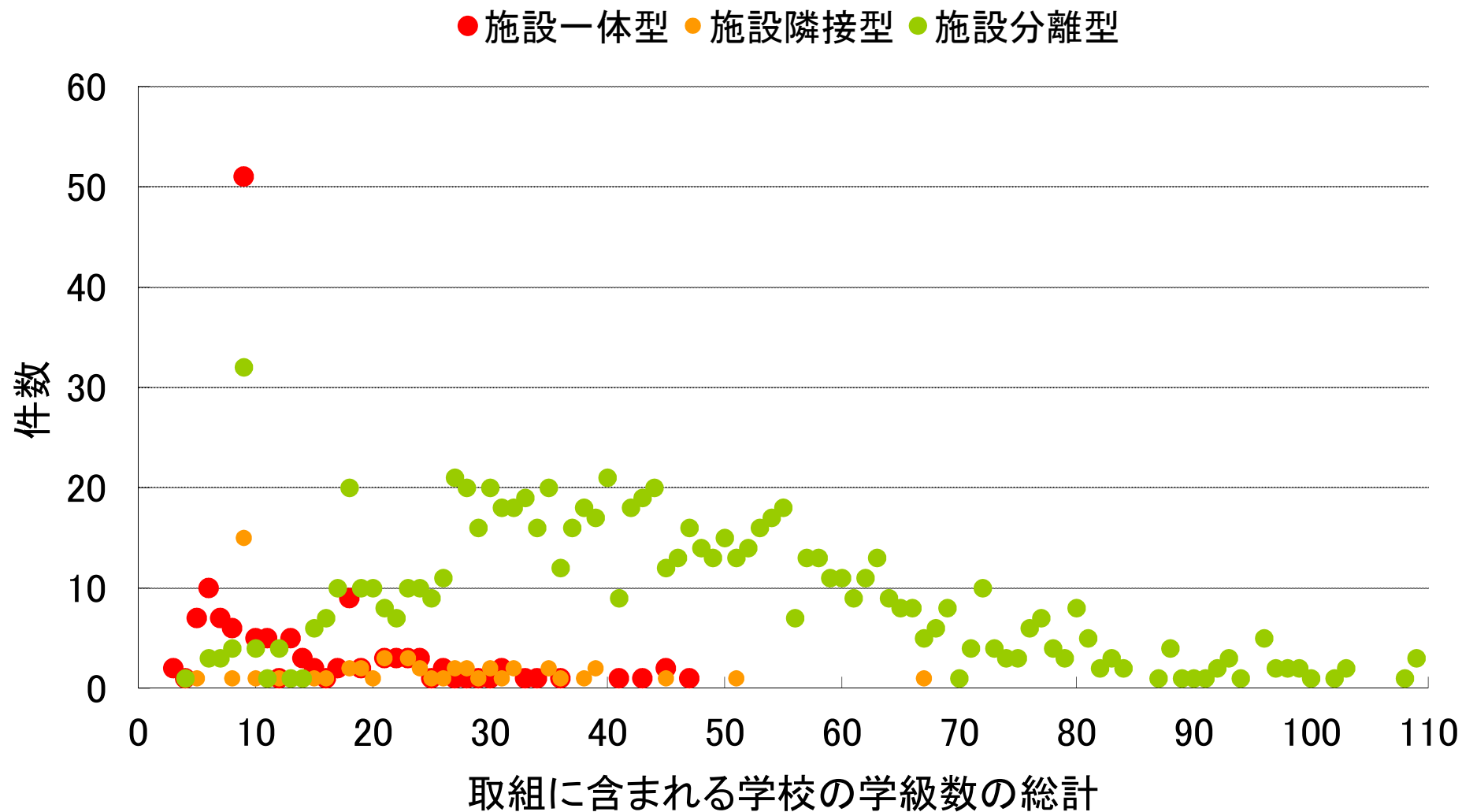
【参考】小中一貫教育における校舎の設置状況の分類

区分	校舎の設置状況
<p>① 【いわゆる施設一体型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されている (小学校と中学校の校舎が渡り廊下等でつながっているものを含む)</p>	<p>(イメージ)</p> <p>全部一体的に設置 (同一敷地)</p> <p>一部一体的に設置 (同一敷地)</p> <p>全部一体的に設置 (異なる敷地、渡り廊下で接続)</p> <p>全部一体的に設置 (異なる敷地、渡り廊下で接続)</p> <p>全部一体的に設置 (本校舎・分校舎を設置)</p> <p>一部一体的に設置 (異なる敷地、渡り廊下で接続)</p> <p>一部一体的に設置 (異なる敷地)</p>
<p>② 【いわゆる施設隣接型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎が同一敷地又は隣接する敷地に別々に設置されている</p>	<p>(イメージ)</p> <p>別々に設置 (同一敷地)</p> <p>別々に設置 (隣接する敷地)</p>
<p>③ 【いわゆる施設分離型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている</p>	<p>(イメージ)</p> <p>別々に設置 (隣接していない異なる敷地)</p> <p>別々に設置 (隣接していない異なる敷地)</p> <p>別々に設置 (隣接していない異なる敷地)</p>
<p>④ その他</p> <p>施設一体型校舎と施設分離型校舎が併存している場合など</p>	<p>(イメージ)</p> <p>施設一体型校舎</p> <p>施設一体型校舎</p> <p>施設隣接型校舎</p> <p>別々に設置 (隣接していない異なる敷地)</p> <p>別々に設置 (隣接していない異なる敷地)</p> <p>別々に設置 (隣接していない異なる敷地)</p>

注) □ は校舎を、■ は敷地を示す。

施設形態別 学級数分布

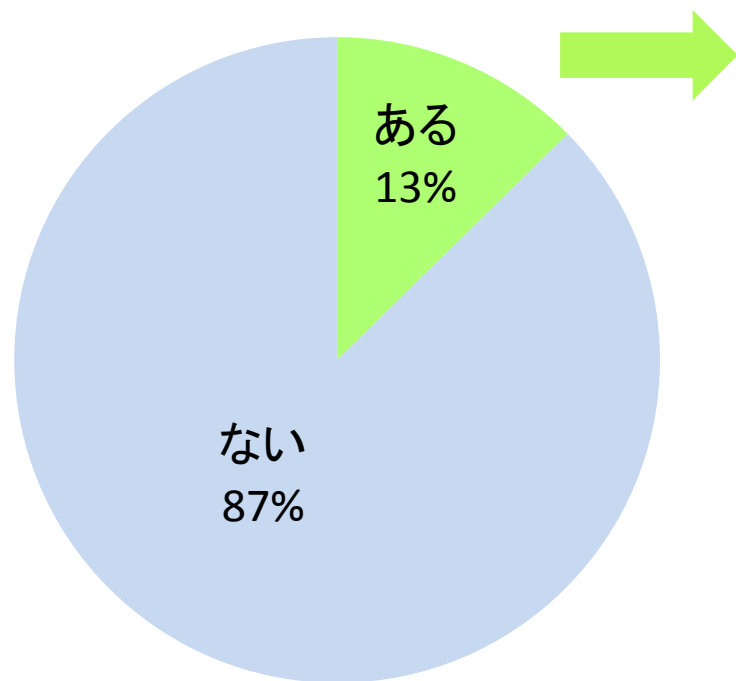
【小中一貫教育を行う学校】



小中一貫教育を行う上での施設やスペースの整備状況

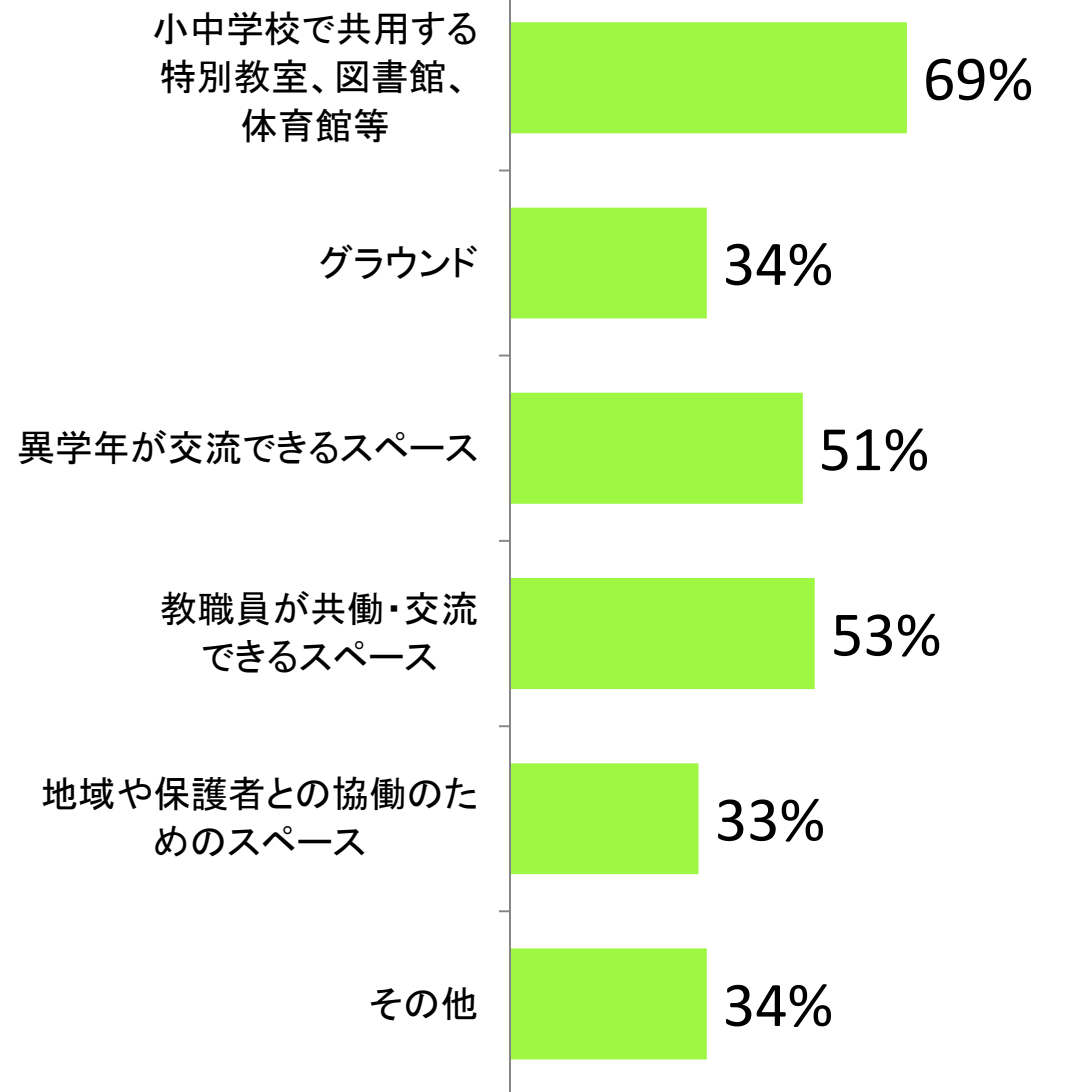
【小中一貫教育を行う学校】

新たに整備した施設やスペースの有無



N=1130(小中一貫教育実施件数)

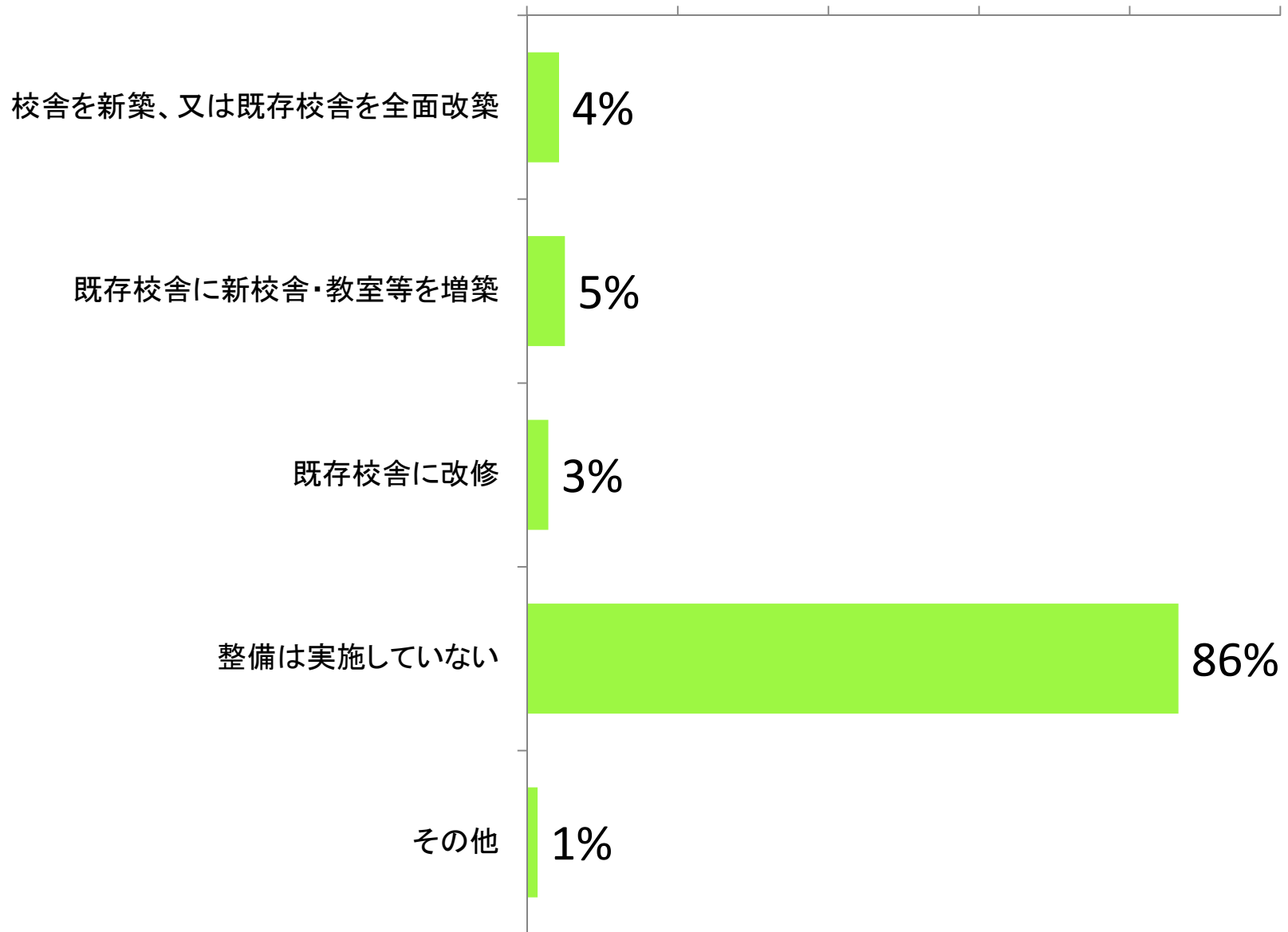
整備箇所



N=143 / 1130

小中一貫教育を行う上での校舎の整備状況

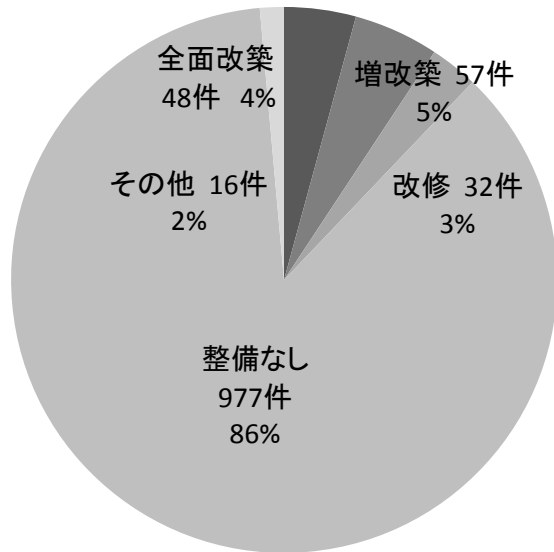
【小中一貫教育を行う学校】



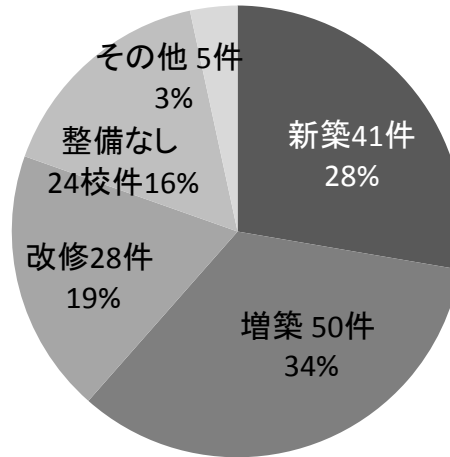
N=1130(小中一貫教育実施件数)

施設形態ごとの校舎の整備状況

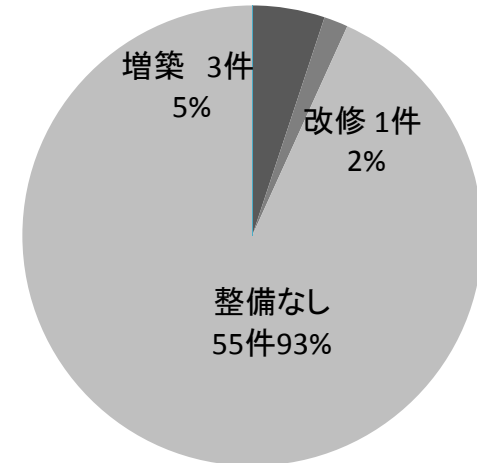
全体 1130件



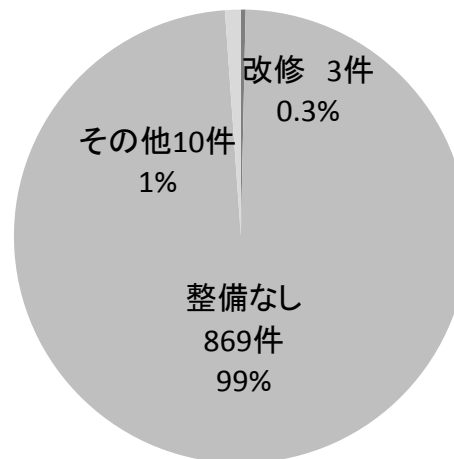
施設一体型 148件



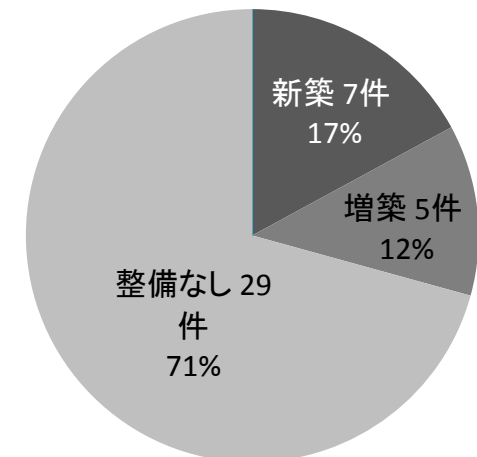
施設隣接型 59件



施設分離型 882件



その他 41件



整備を実施した事例

隣接型校舎

A小学校(改修)

- 教職員が協働・交流できるスペース。
- その他 7年生(中学1年生)小学校校舎での生活スペース(1ヶ月)

B小学校(増築)

- 異学年が交流できるスペース
- その他(バスロータリー)

C小学校(増築)

- 小・中学校間で共用する特別教室、図書室、体育館等
- グラウンド
- 異学年が交流できるスペース。
- 教職員が協働や交流ができるスペース。

D小学校(増築)

- その他 連絡通路、講堂の座席数

施設分離型

E小学校(改修)

- 小・中学校間で共用する特別教室、図書室、体育館等
- 地域や保護者との協働のためのスペース
- その他(6年生教室プレ登校用教室)

F小学校(改修)

- 教職員が協働や交流ができるスペース

G小学校(改修)

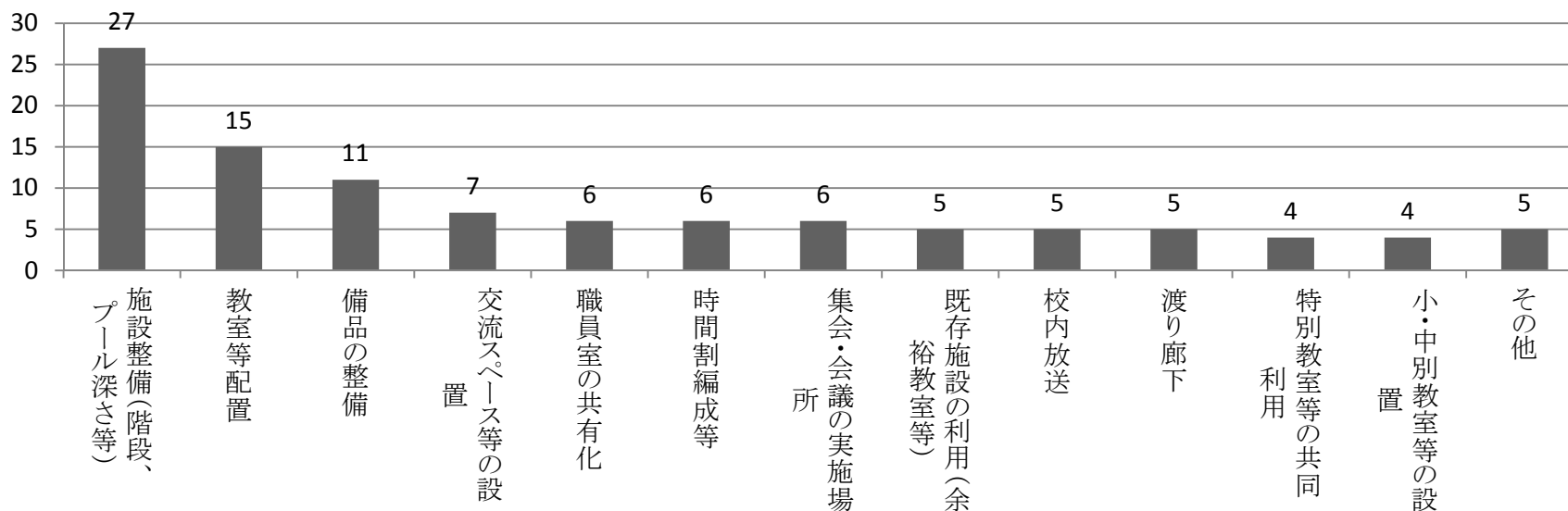
- その他
(中学校に6年生の金曜登校用の靴箱、教室を設置)

施設形態ごとの施設面での工夫(自由記述)

記述内容を項目ごとに分類・集計

件

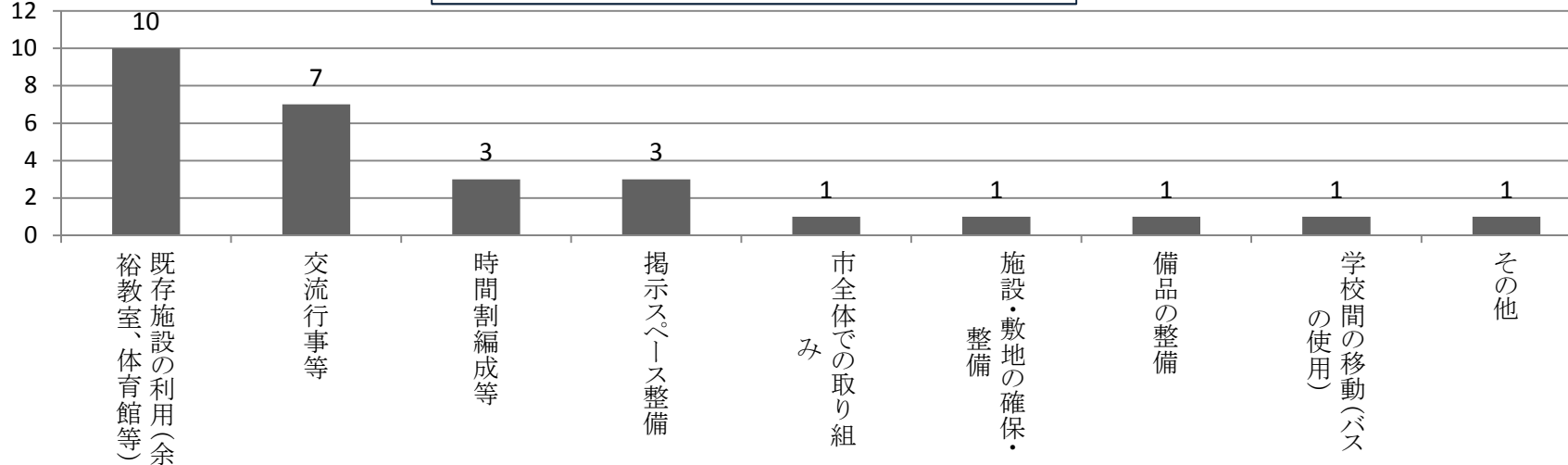
施設一体型 97件(148件中回答のあった学校)



(その他)バリアフリー化、指導体制等

件

施設分離型 148件(882件中回答のあった学校)

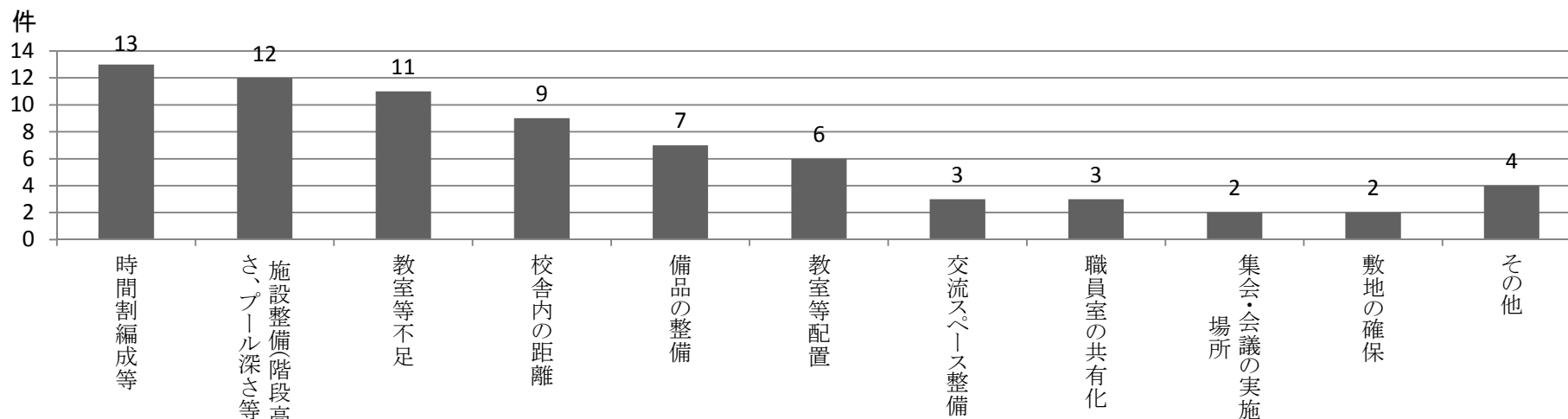


(その他)共通の施設使用ルール

施設形態ごとの施設面での課題（自由記述）

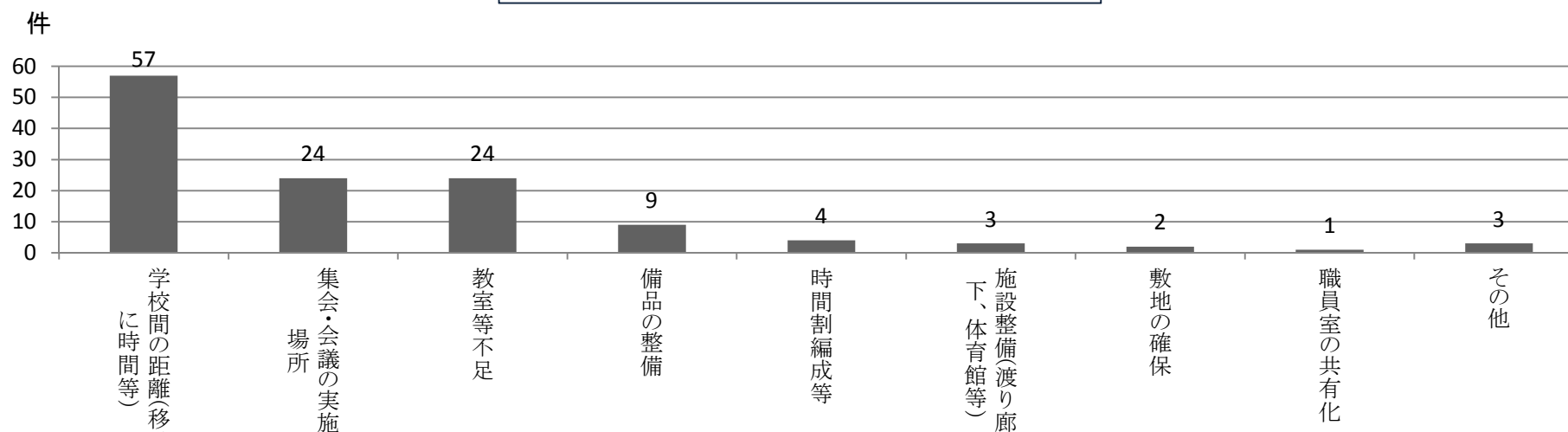
記述内容を項目ごとに分類・集計

施設一体型 97件(148件中回答のあった学校)



(その他)小学生の騒音、共通の施設使用ルール等

施設分離型 148件(882件中回答のあった学校)



(その他)分散進学、WEB会議、一体感

校長の体制

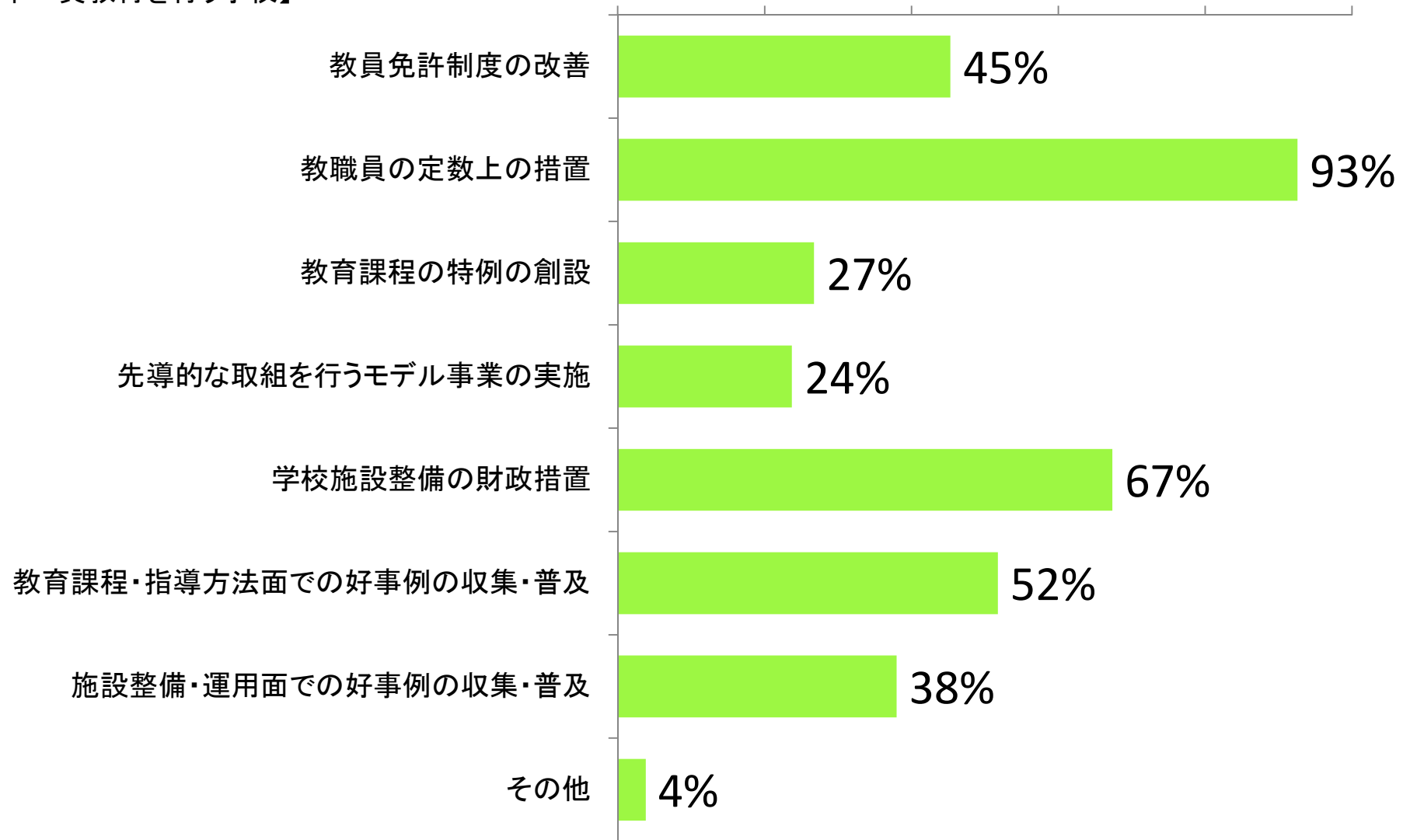
【小中一貫教育を行う学校】

	一人の校長が小・中学校を兼務している	学校毎に校長がいるが、責任者としての役割を果たす校長が決まっている	学校毎に校長がおり、適宜連携を図っている	全体
施設一体型	112 (76%)	9 (6%)	27 (18%)	148 (100%)
施設隣接型	7 (12%)	8 (14%)	44 (75%)	59 (100%)
施設分離型	4 (0%)	91 (10%)	787 (89%)	882 (100%)
その他	8 (20%)	7 (17%)	26 (63%)	41 (100%)
全体	131 (12%)	115 (10%)	884 (78%)	1130 (100%)

N=1130(小中一貫教育実施件数)

国に期待する取組

【小中一貫教育を行う学校】



【その他の主な内容】

- ・義務教育学習指導要領の策定
- ・デメリットや課題、小中学校間で必要な段差についての研究や報告 など

N=1130(小中一貫教育実施件数)

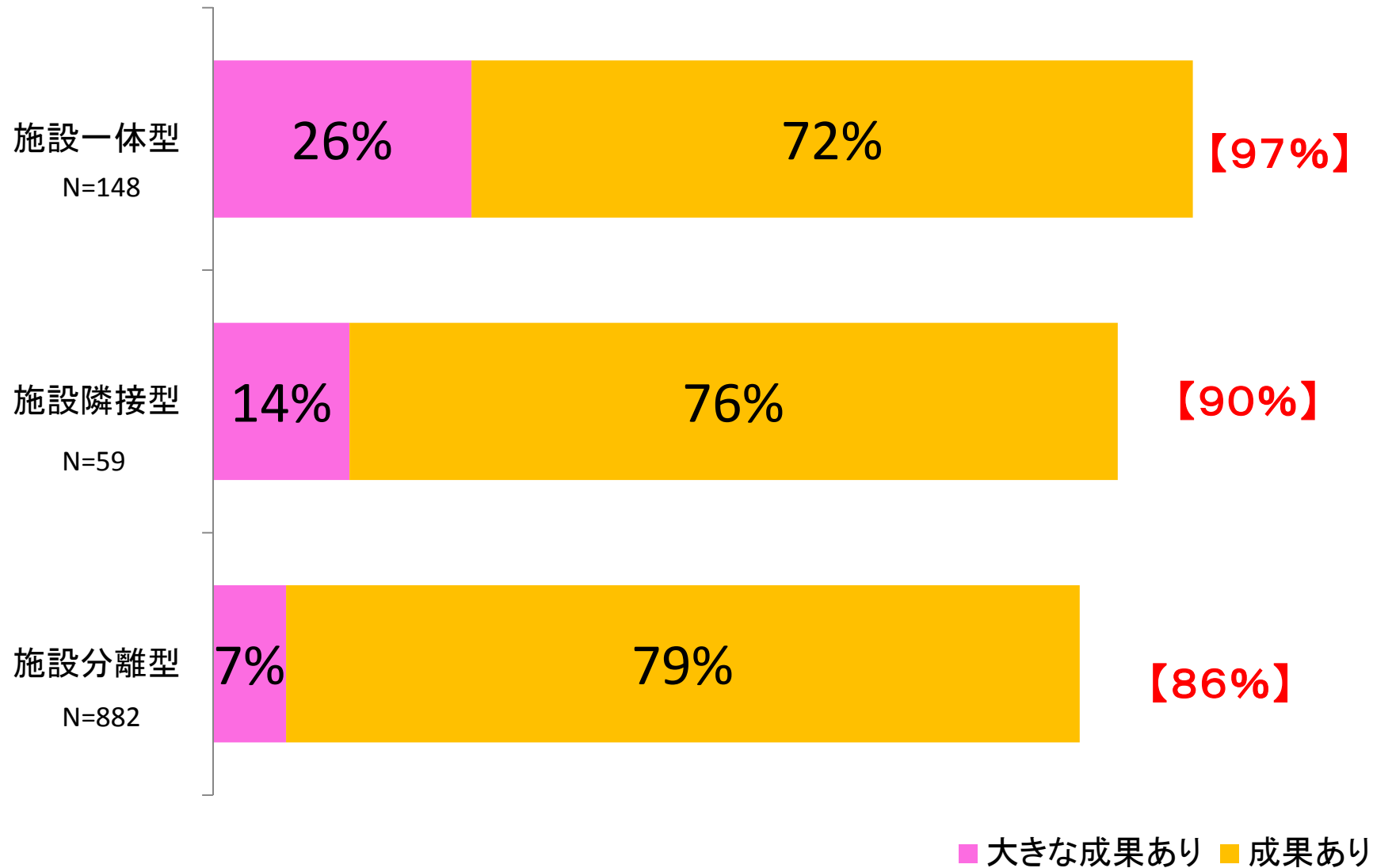


施設形態 × 小中一貫教育の成果

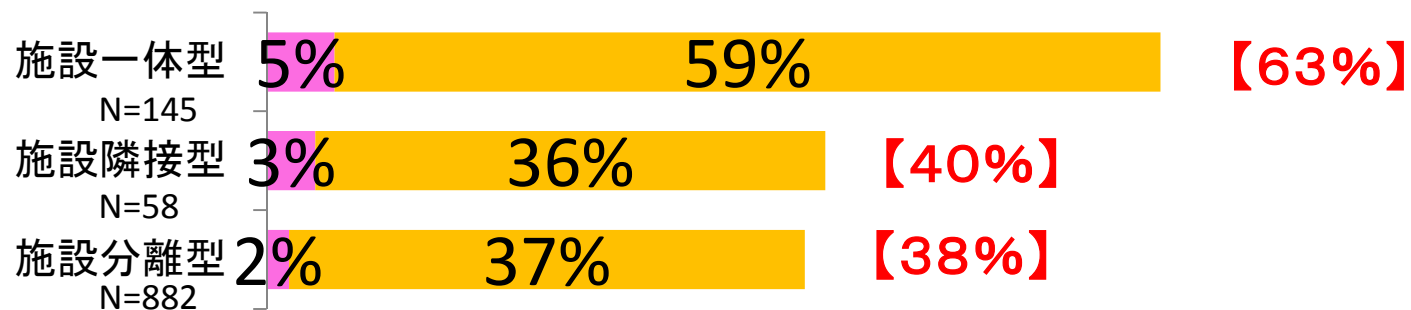
施設形態 × 小中一貫教育の成果

【小中一貫教育を行う学校】

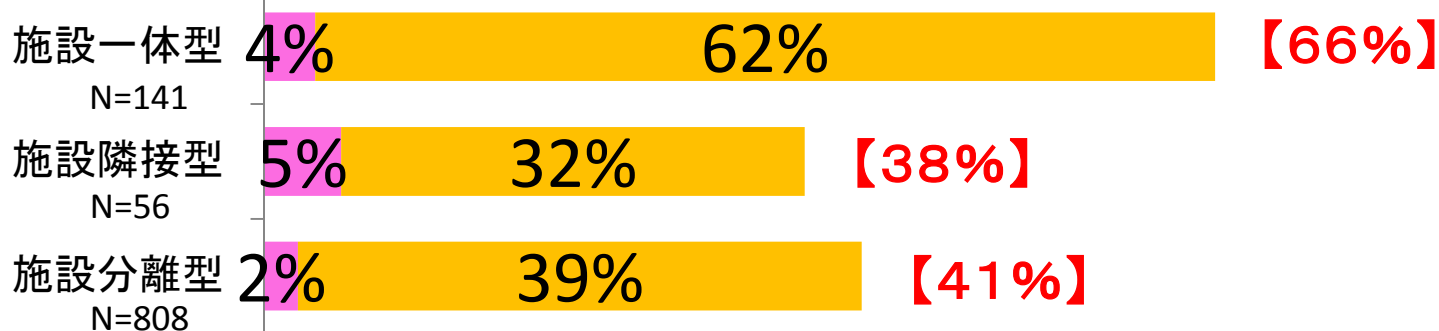
総合評価



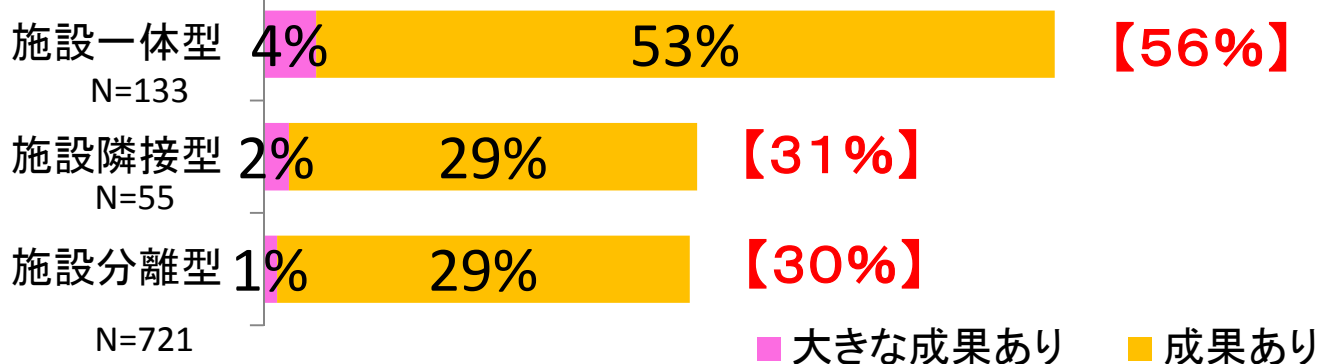
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



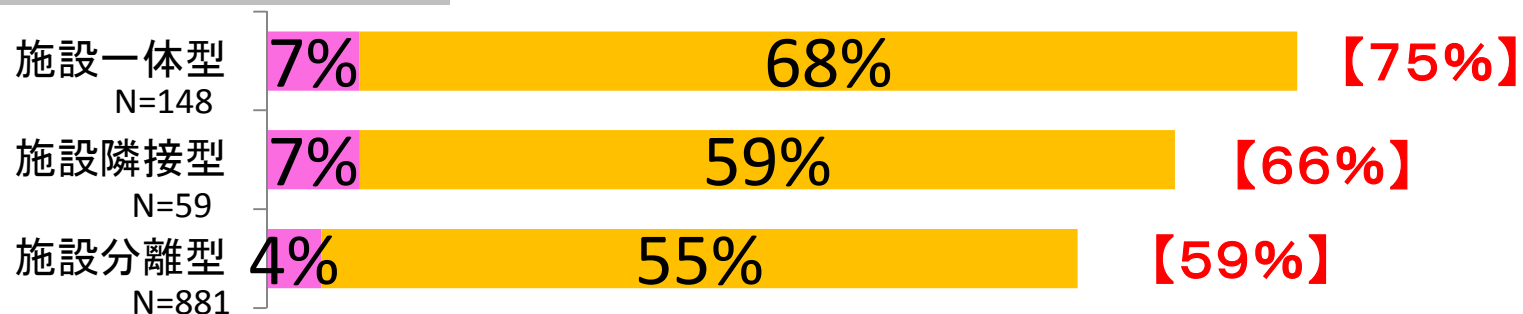
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



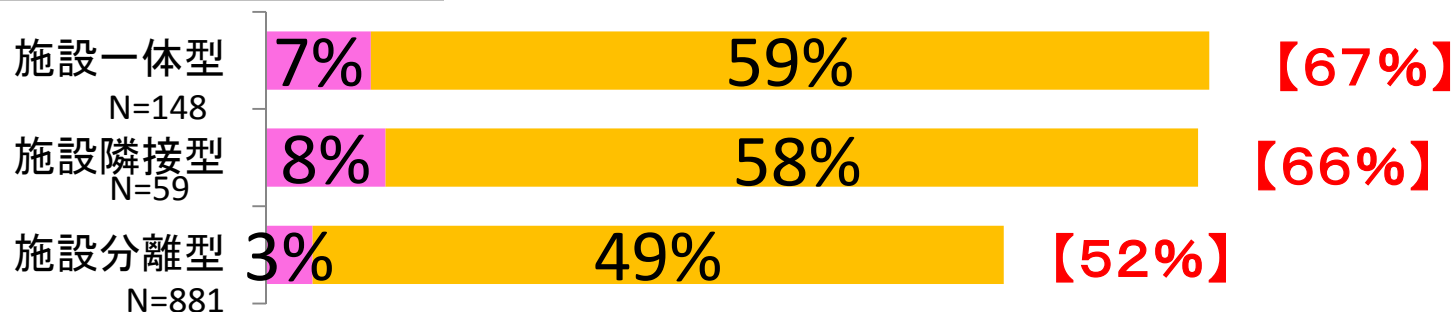
③民間の標準学力検査の結果が向上した



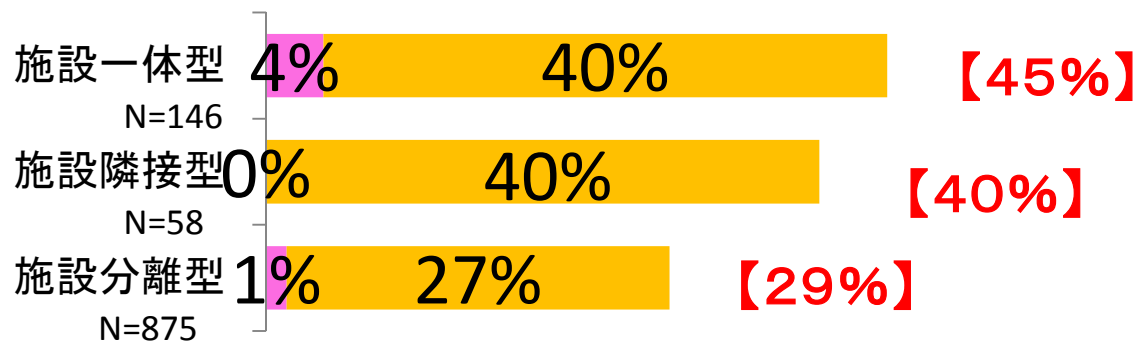
④学習習慣の定着が進んだ



⑤生活リズムが改善した

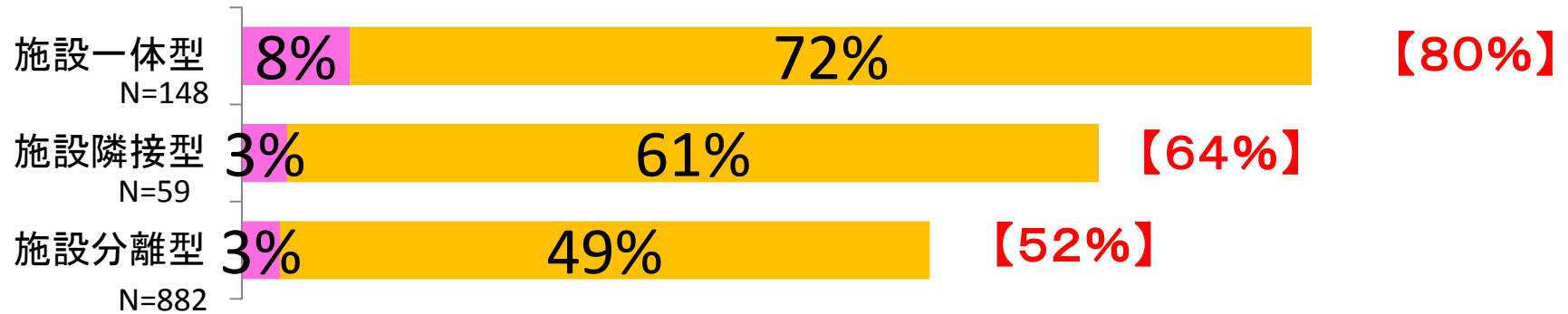


⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した

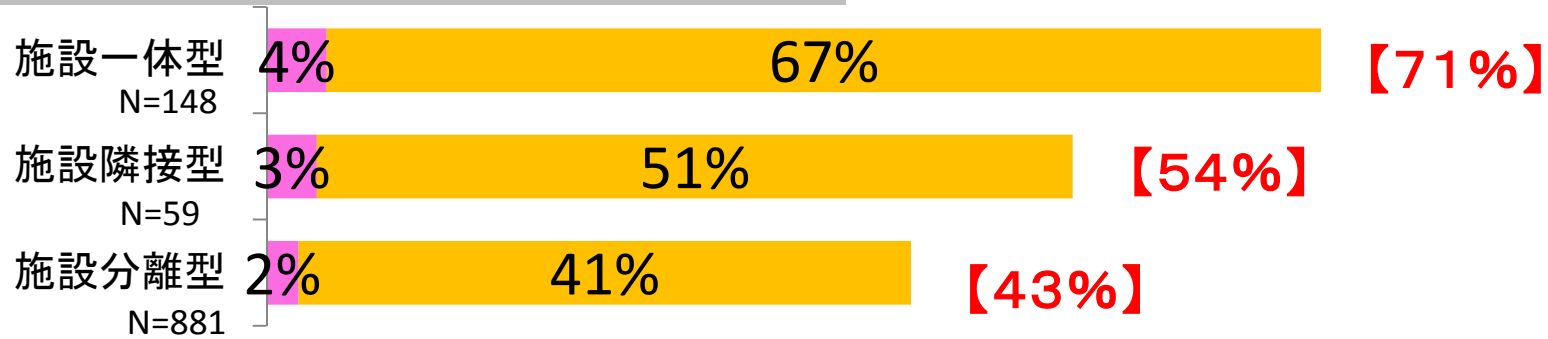


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

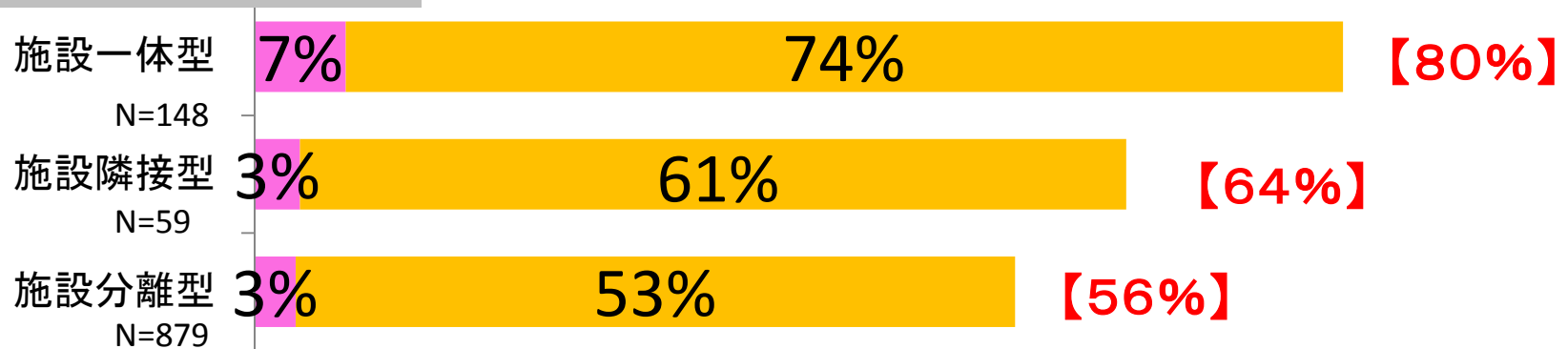
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた

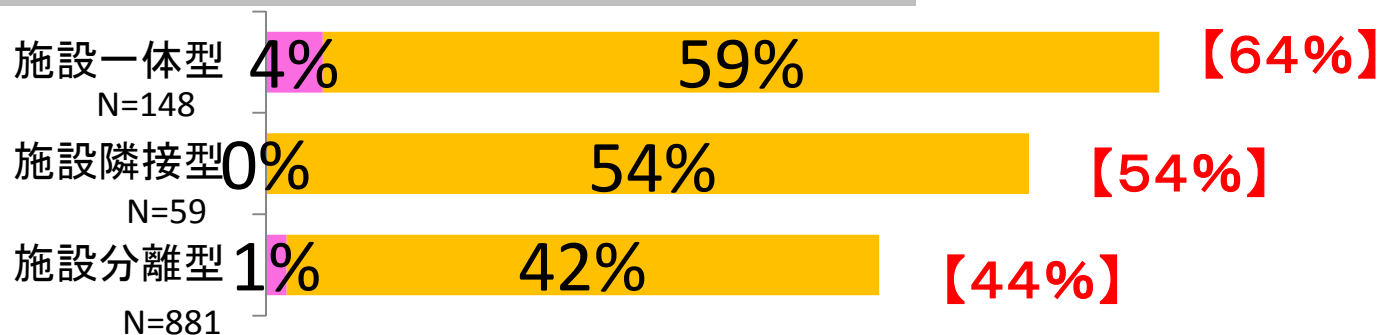


⑨学習意欲が向上した

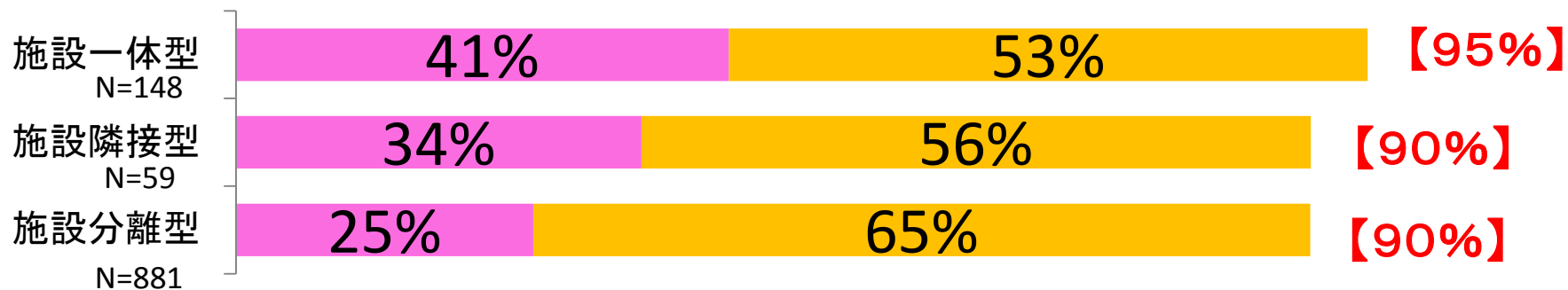


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

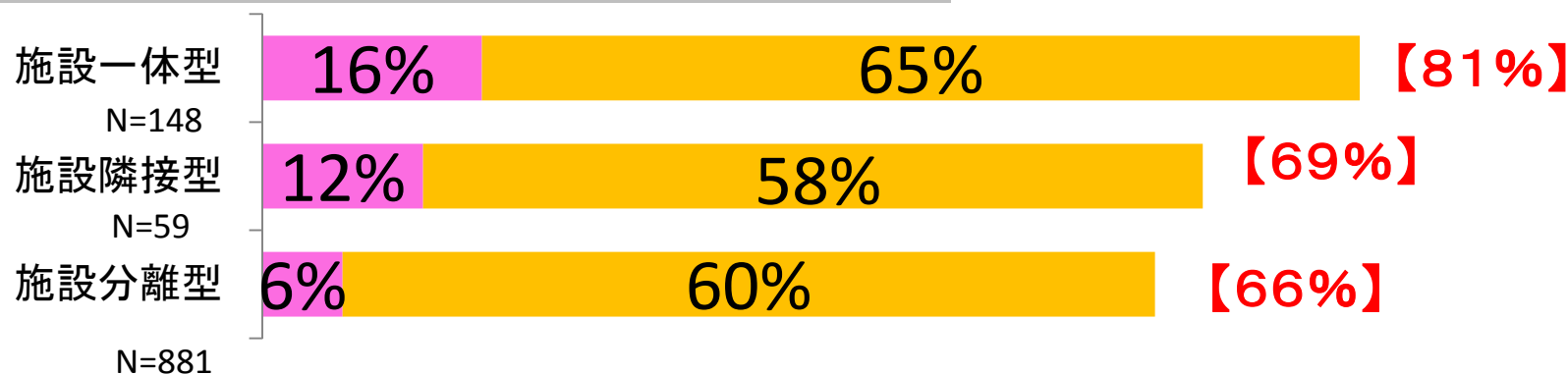
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した

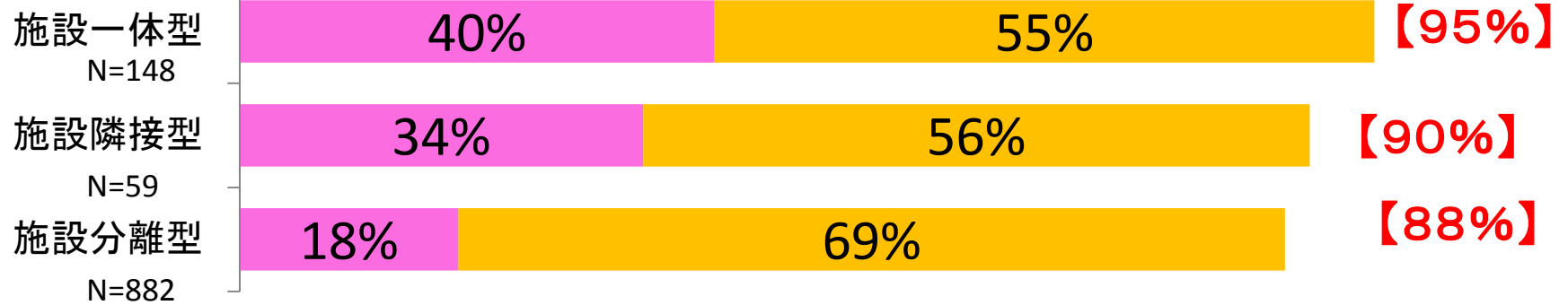


⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった

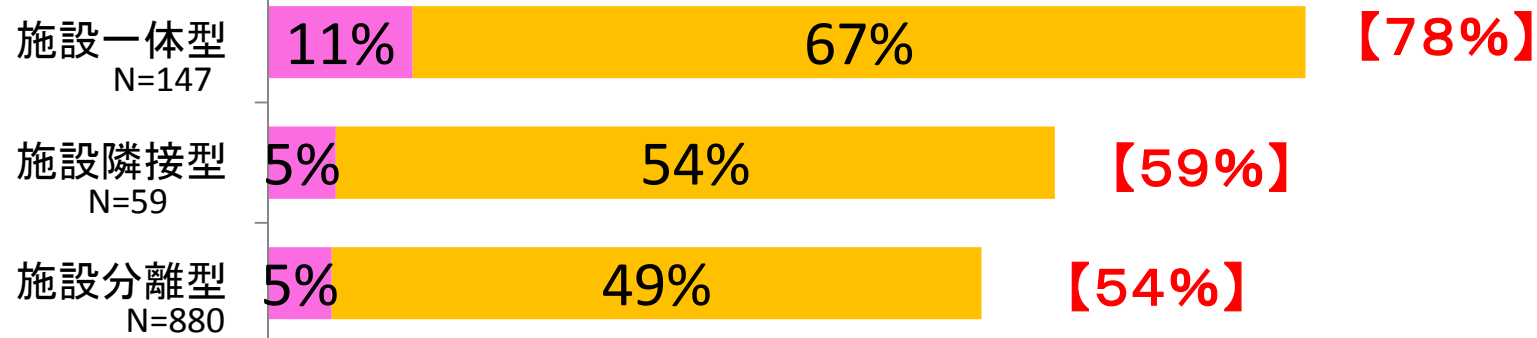


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

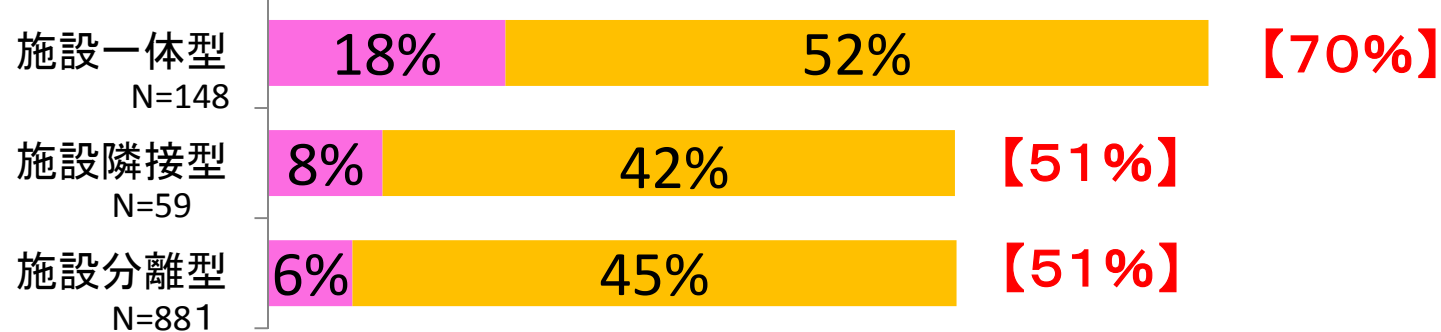
⑬いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



⑭いじめの問題等が減少した

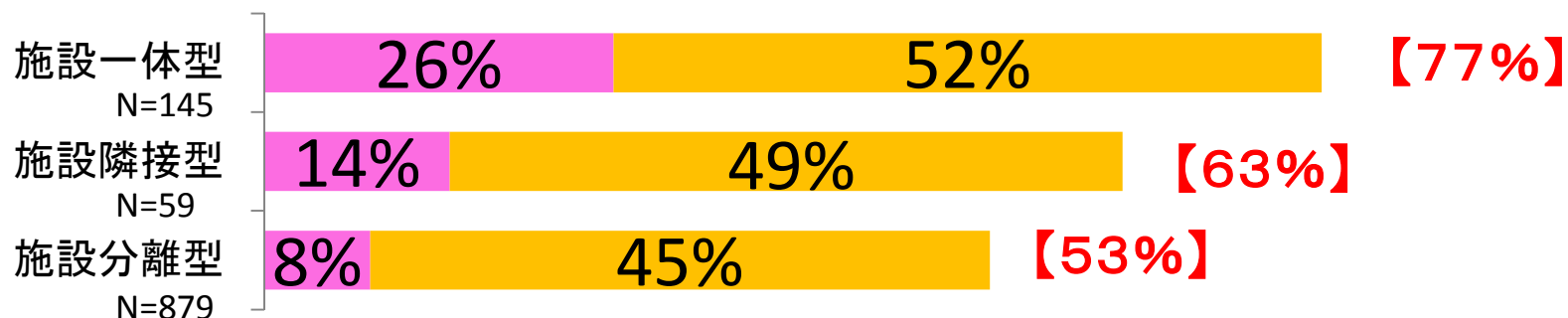


⑮不登校が減少した

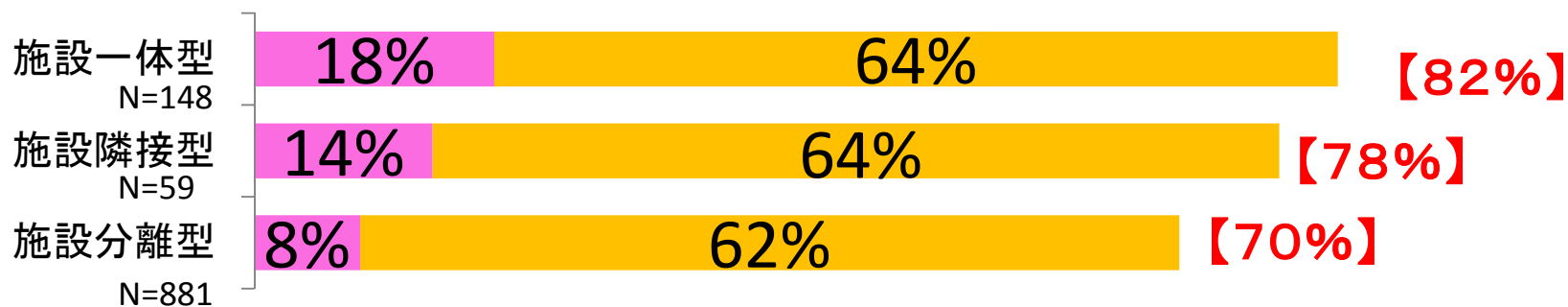


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

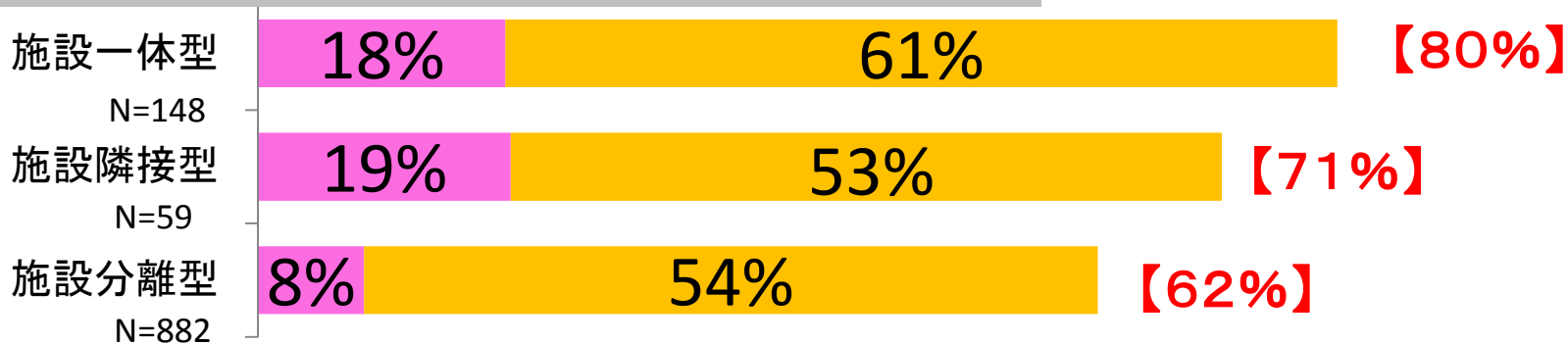
⑩暴力行為の発生件数が減少した



⑪学習規律・生活規律の定着が進んだ

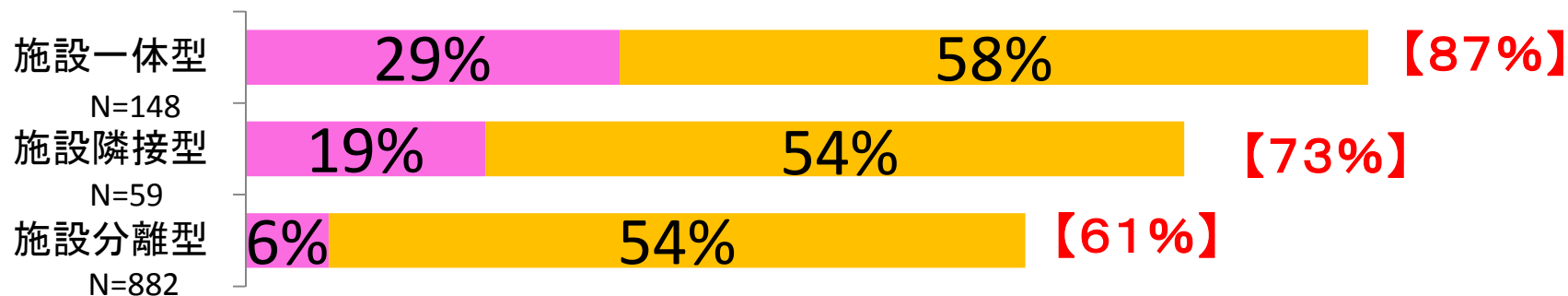


⑫児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)

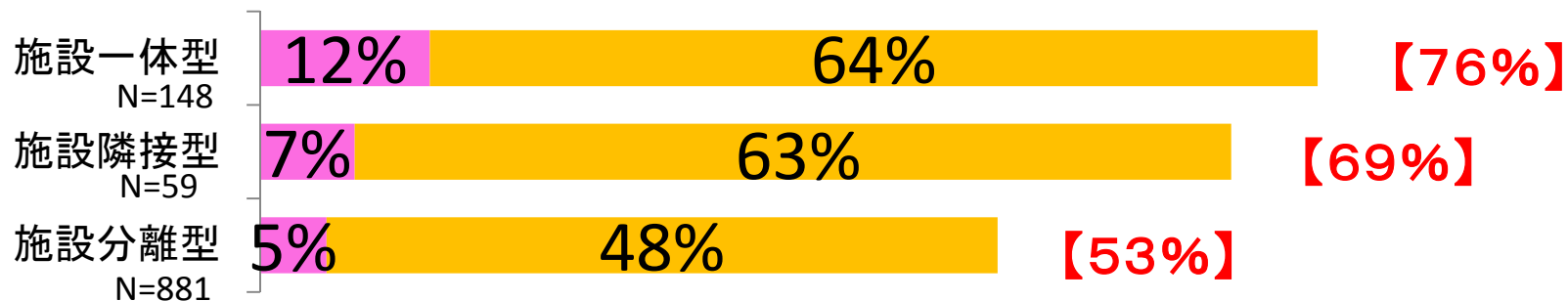


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

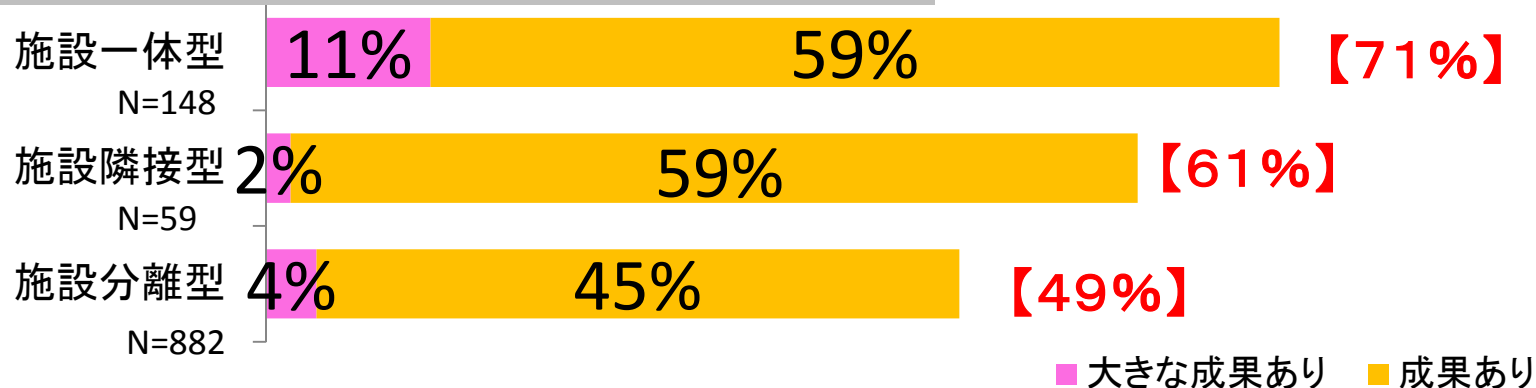
⑱児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



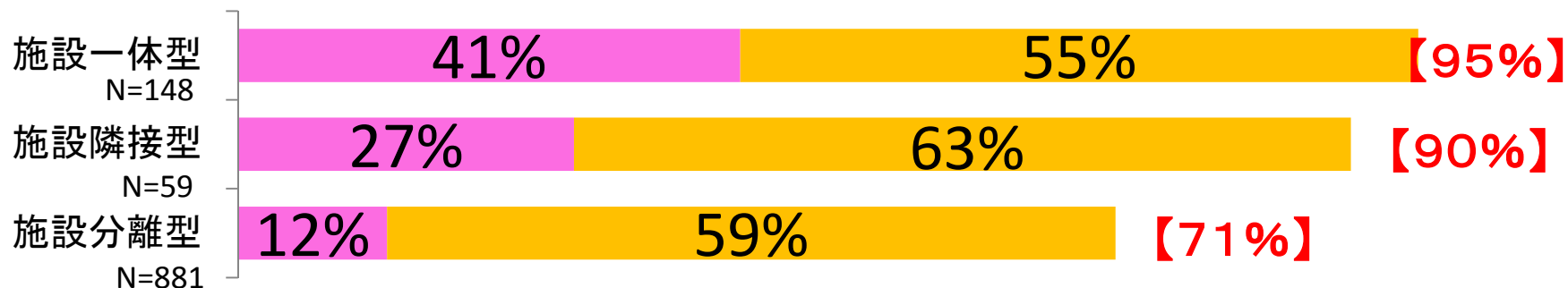
⑳児童生徒の自己肯定感が高まった



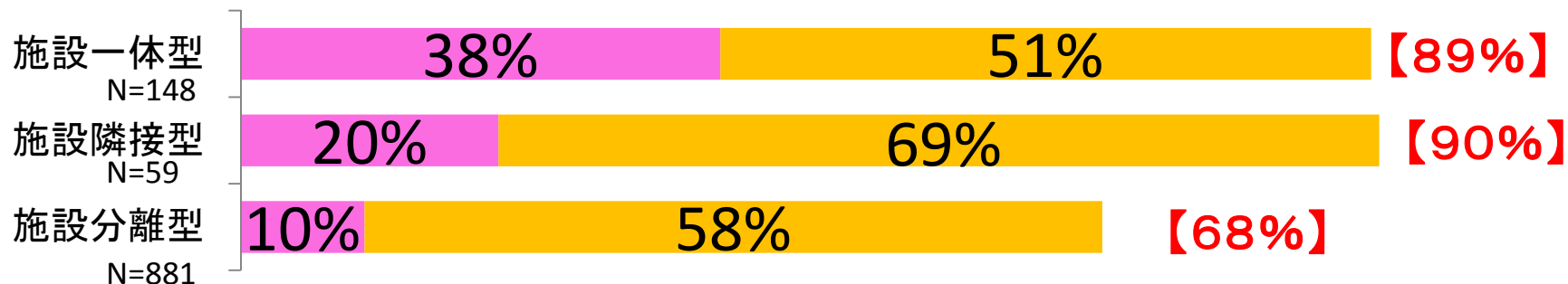
㉑児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



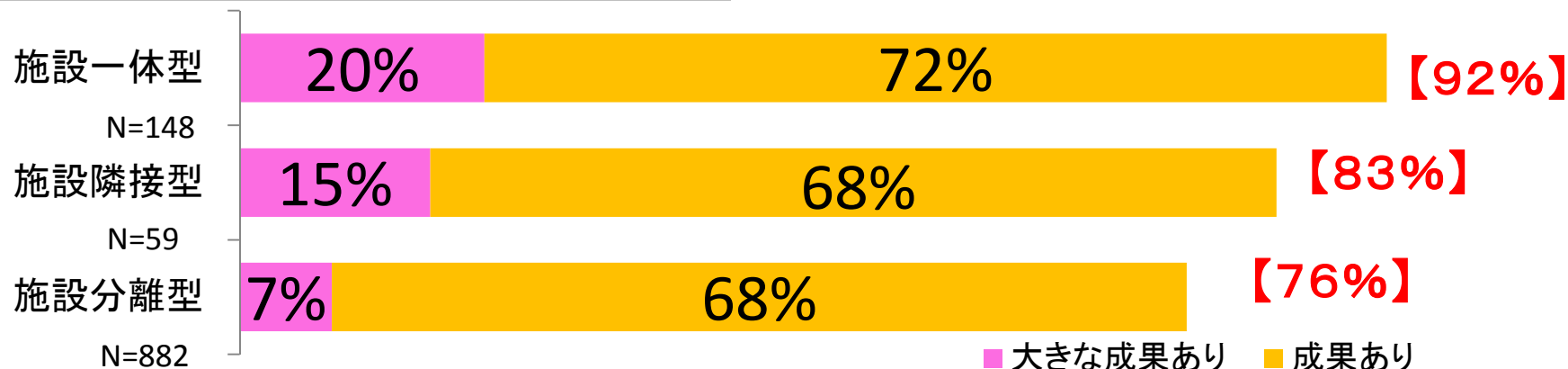
②② 上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった



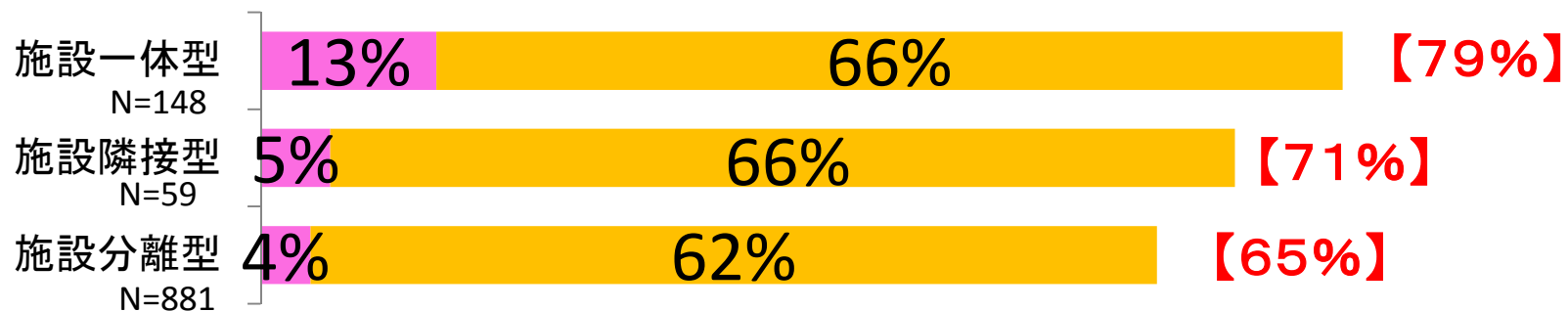
②③ 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



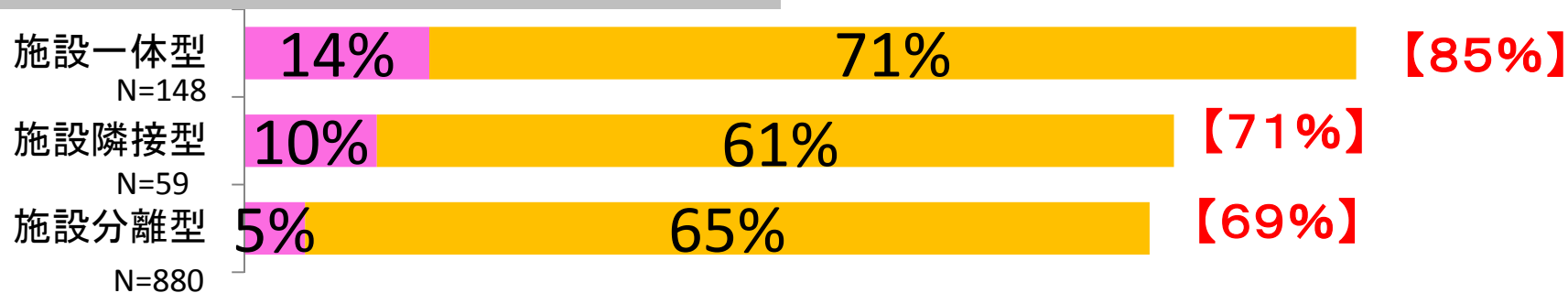
②④ 教員の指導方法の改善意欲が高まった



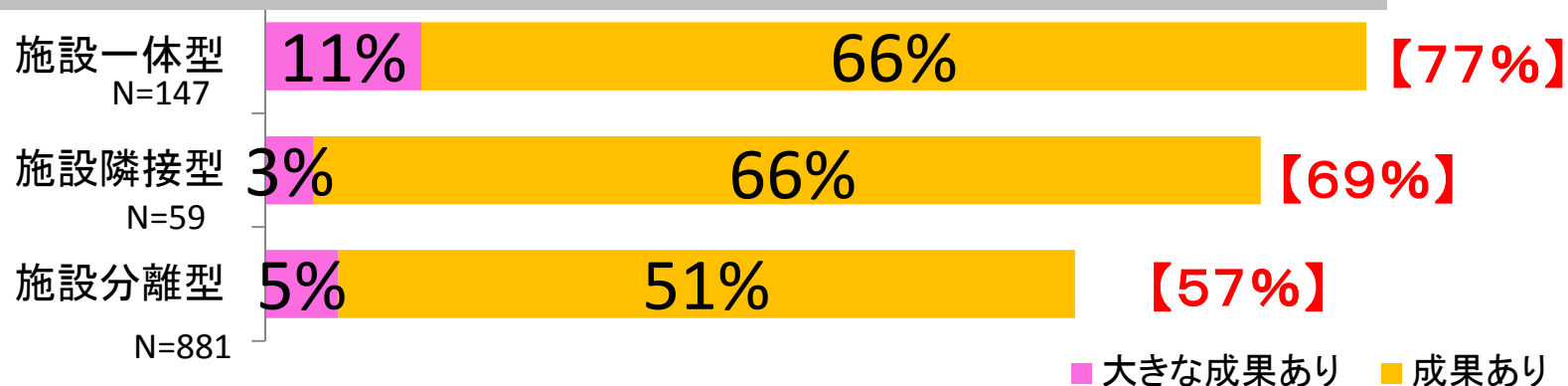
②⑤教員の生徒指導力の向上につながった



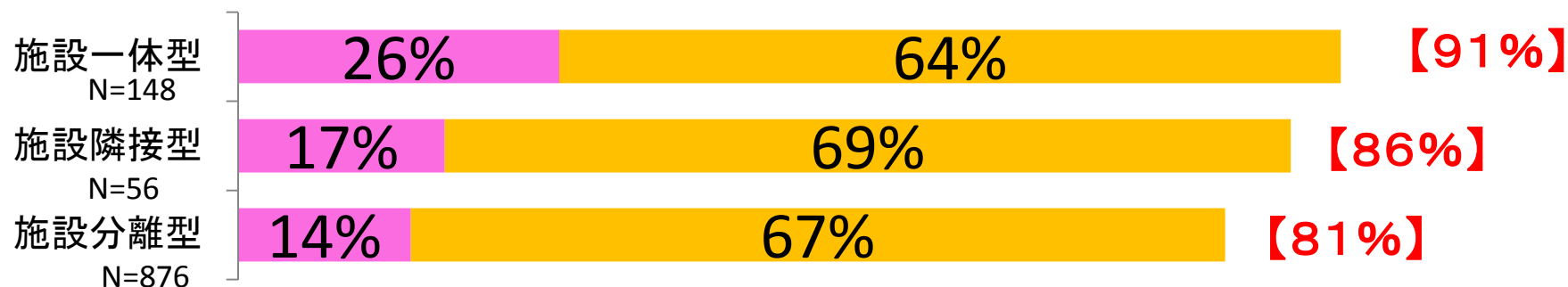
②⑥教員の教科指導力の向上につながった



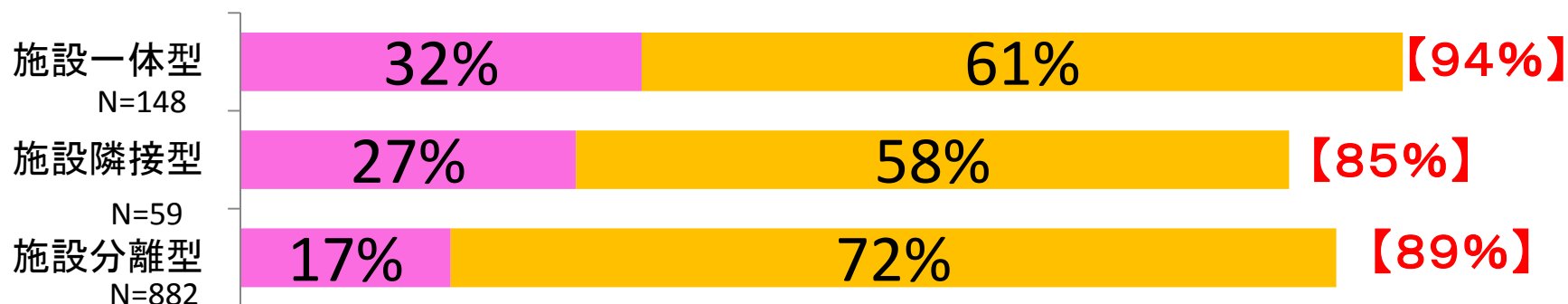
②⑦養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



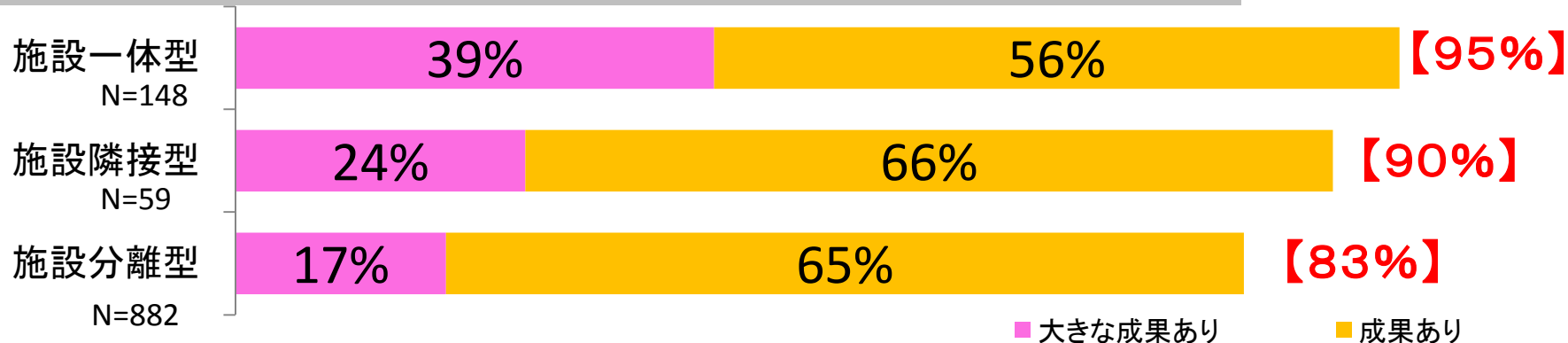
⑳ 小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



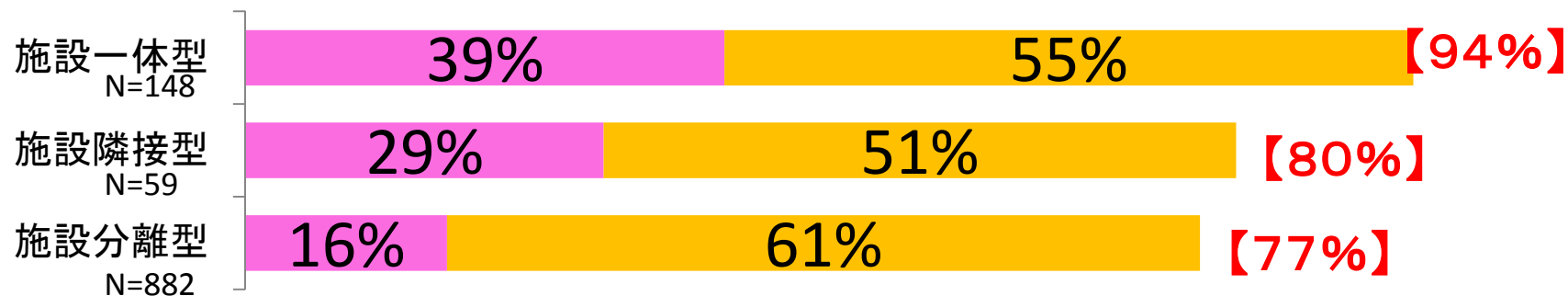
㉑ 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



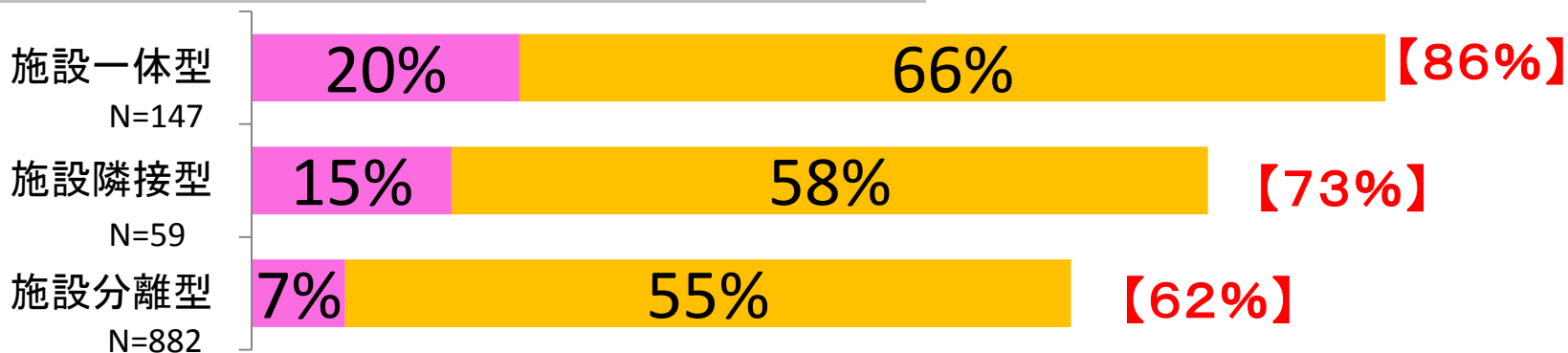
㉒ 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



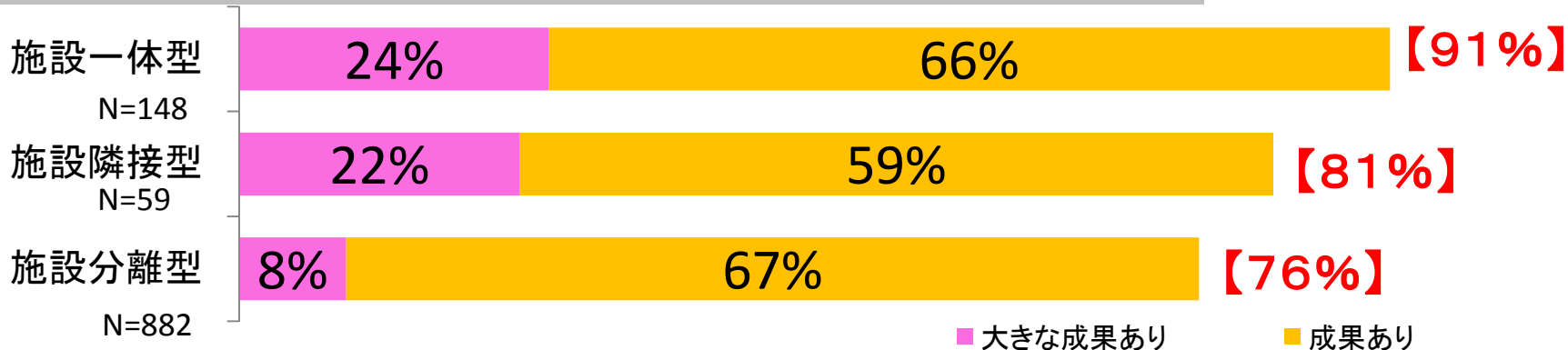
③1 小・中学校共通で実践する取組が増えた



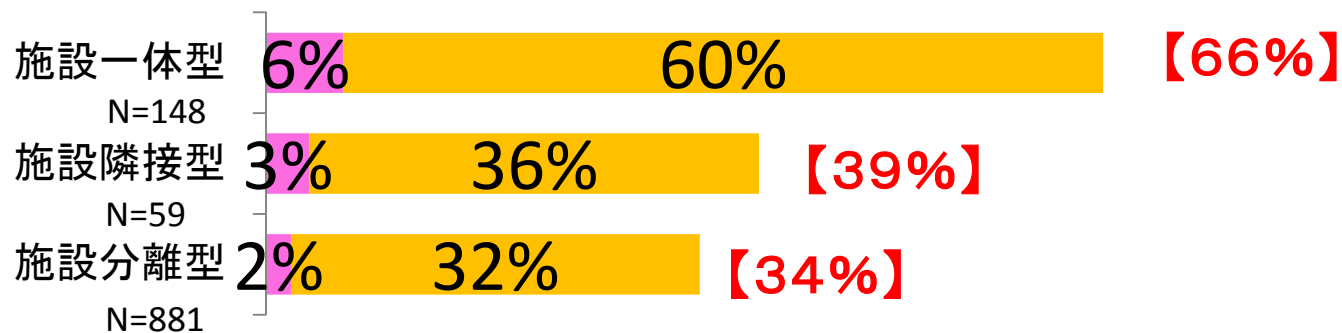
③2 小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



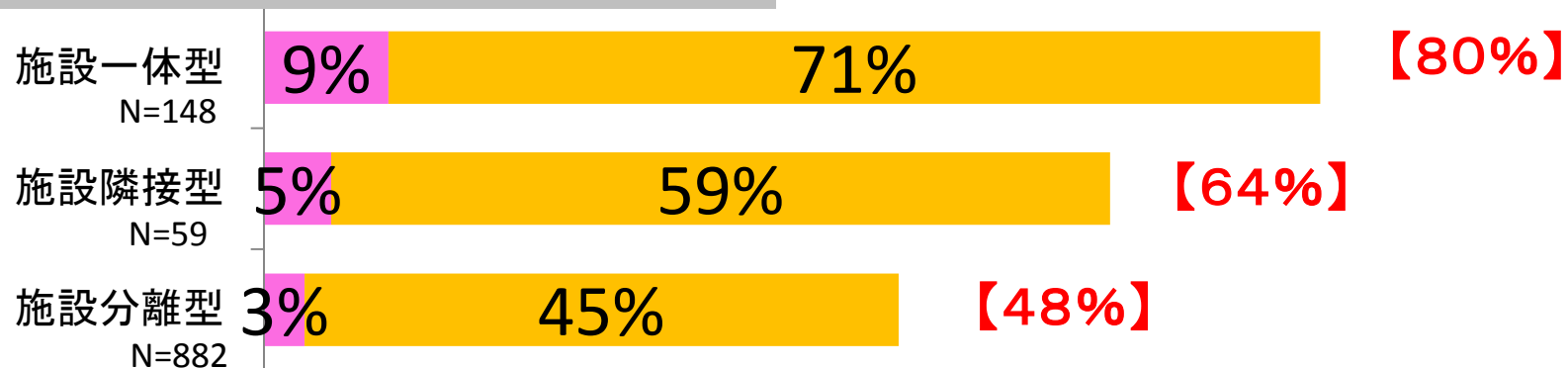
③3 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



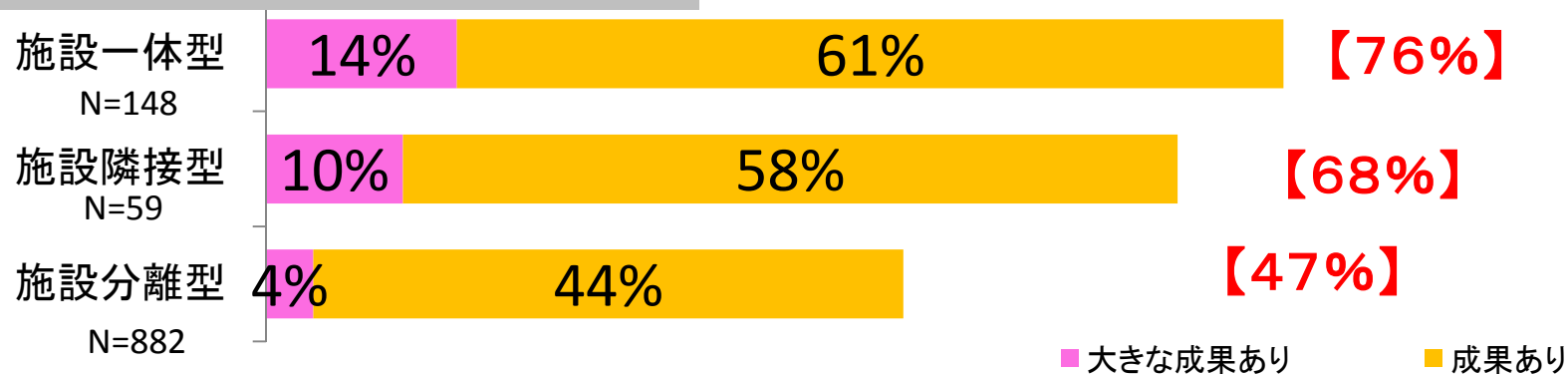
③④教職員の仕事に対する満足度が高まった



③⑤保護者の学校への満足度が高まった



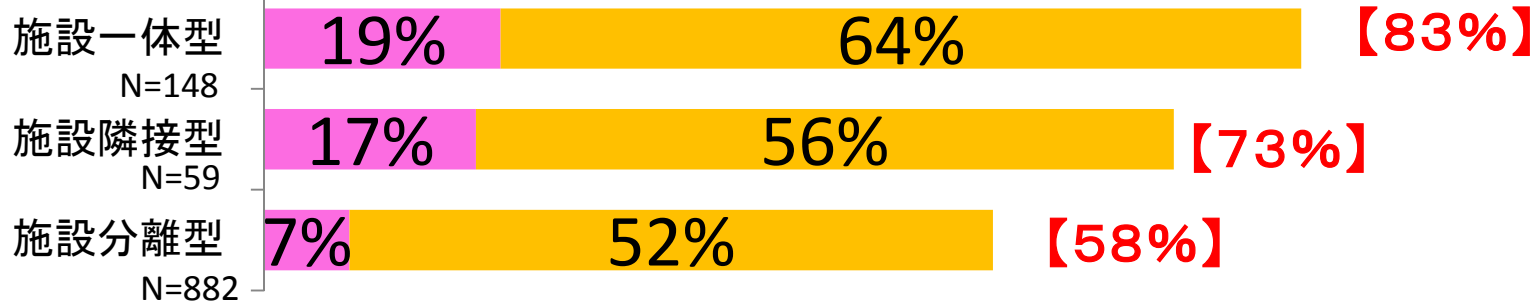
③⑥保護者との協働関係が強化された



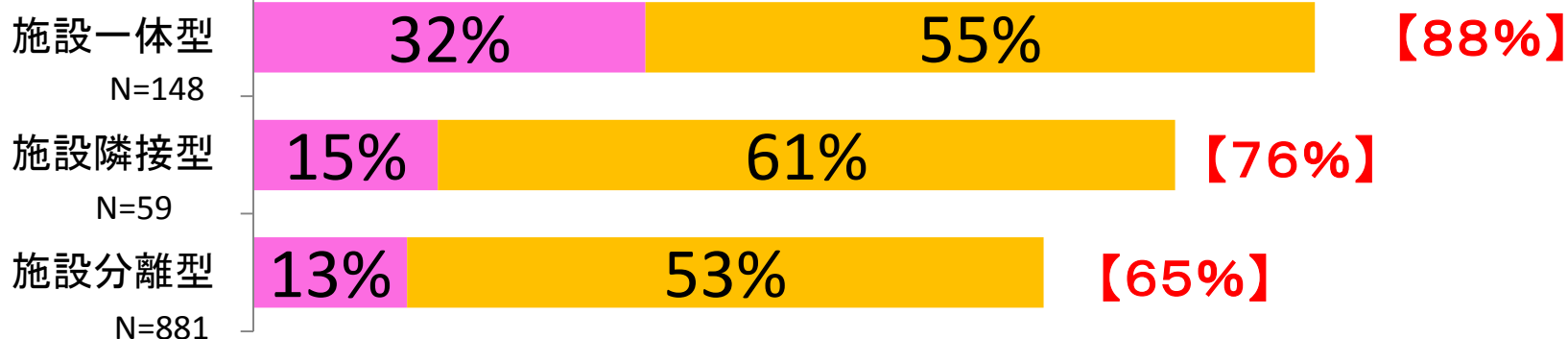
■ 大きな成果あり

■ 成果あり

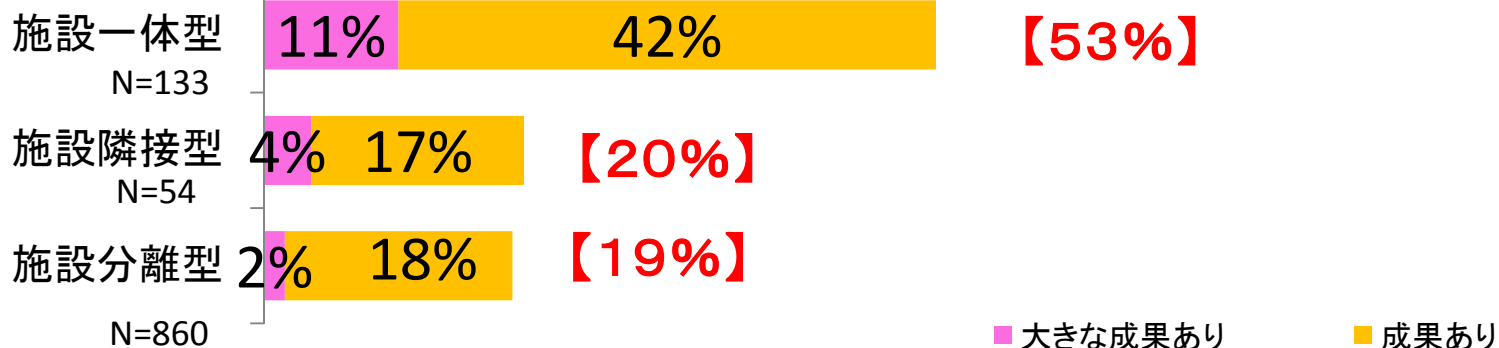
③⑦ 地域との協働関係が強化された



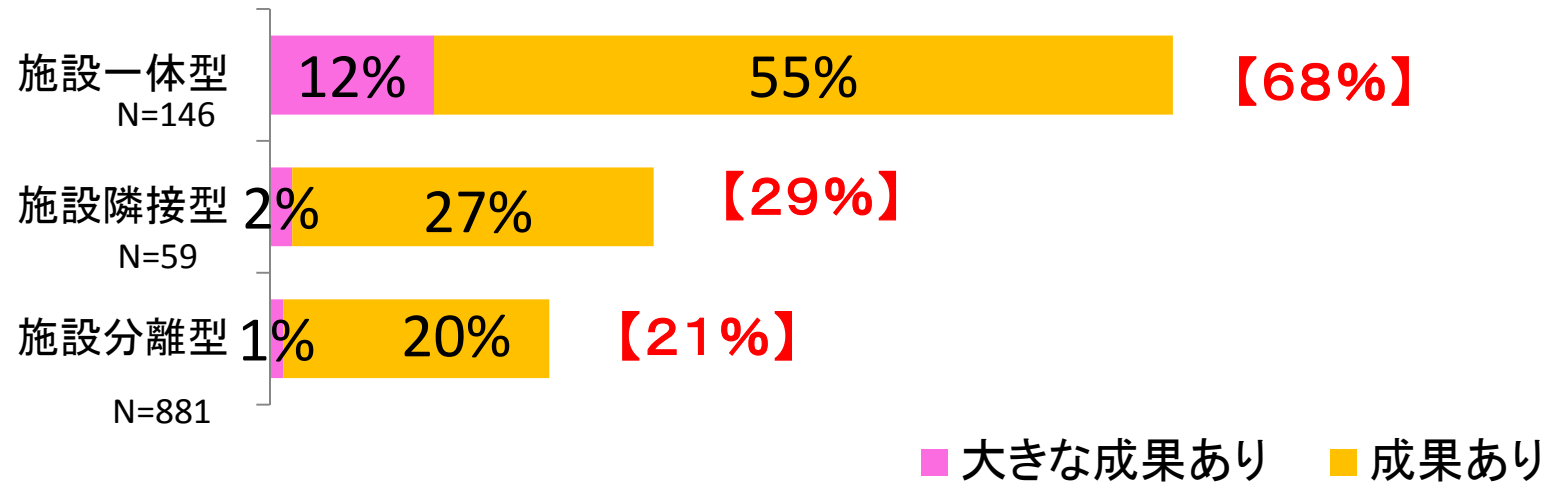
③⑧ 異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



③⑨ 学校独自の新教科や領域の指導が充実した



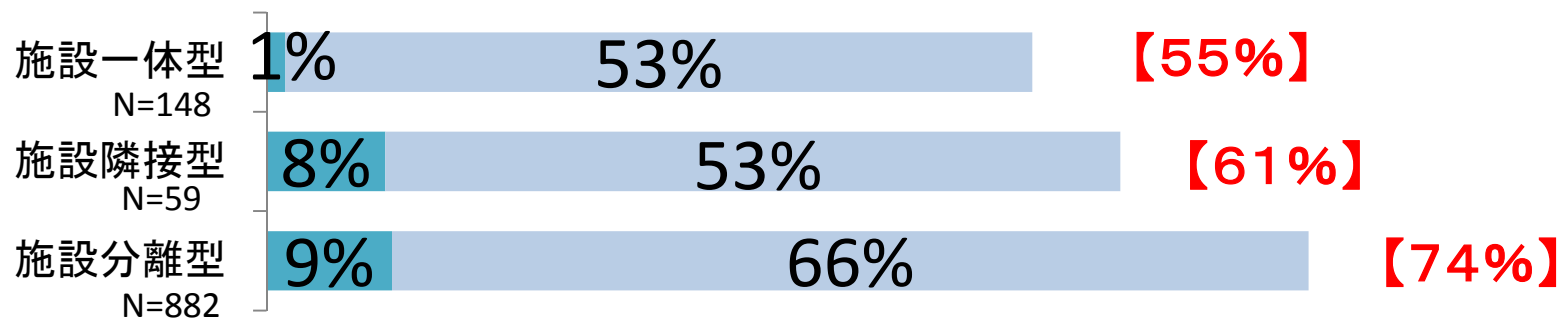
④校務分掌等、学校運営の効率化につながった



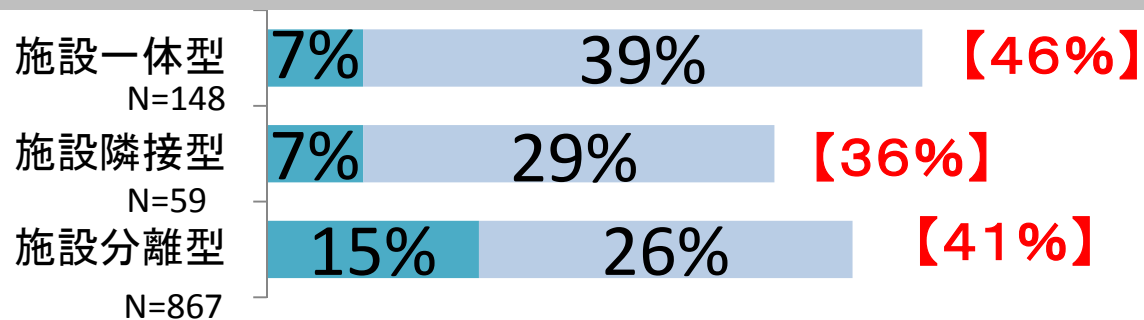


施設形態 × 小中一貫教育の課題

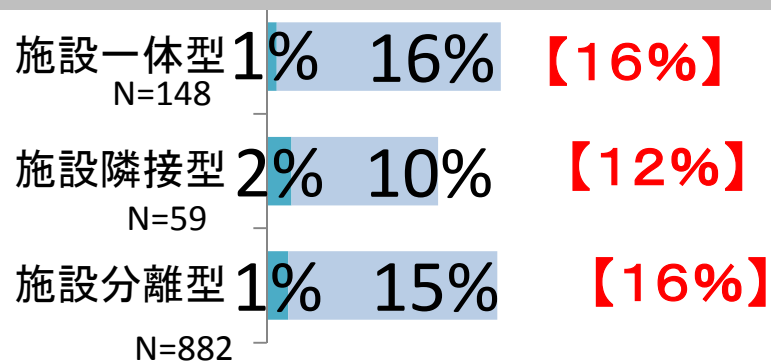
①9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



②施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整

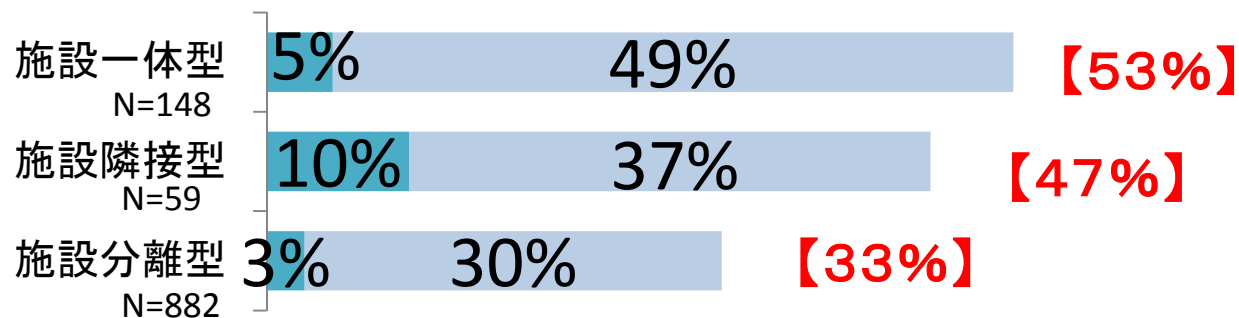


③転出入者への学習指導上・生徒指導上の対応

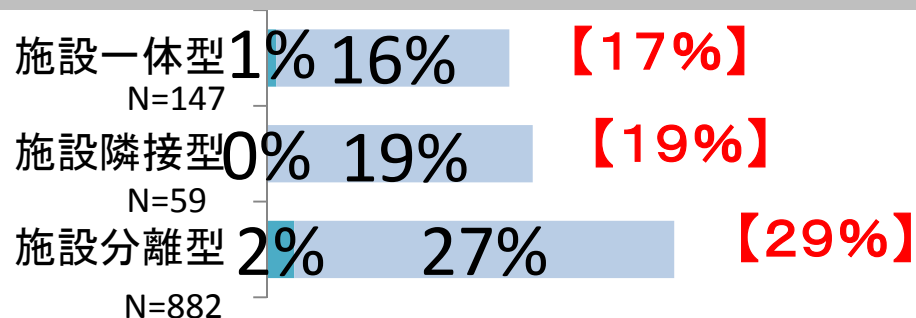


■ 大きな課題あり ■ 課題あり

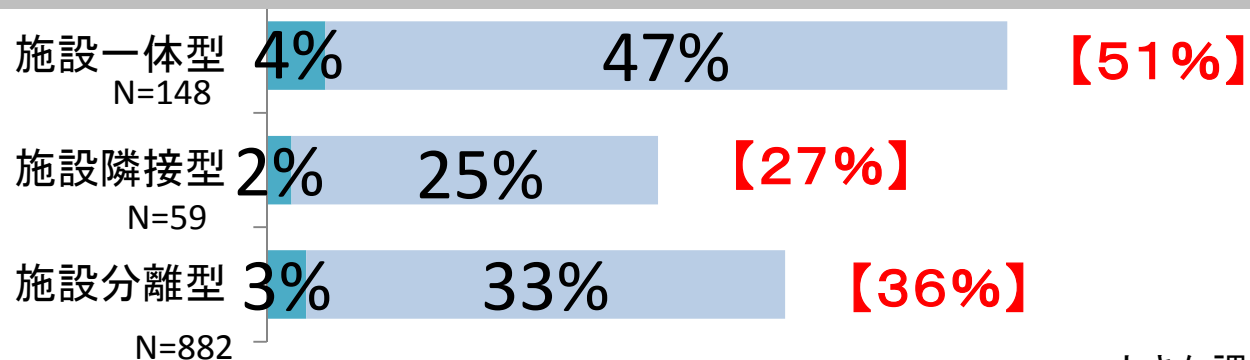
④児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮



⑤中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響

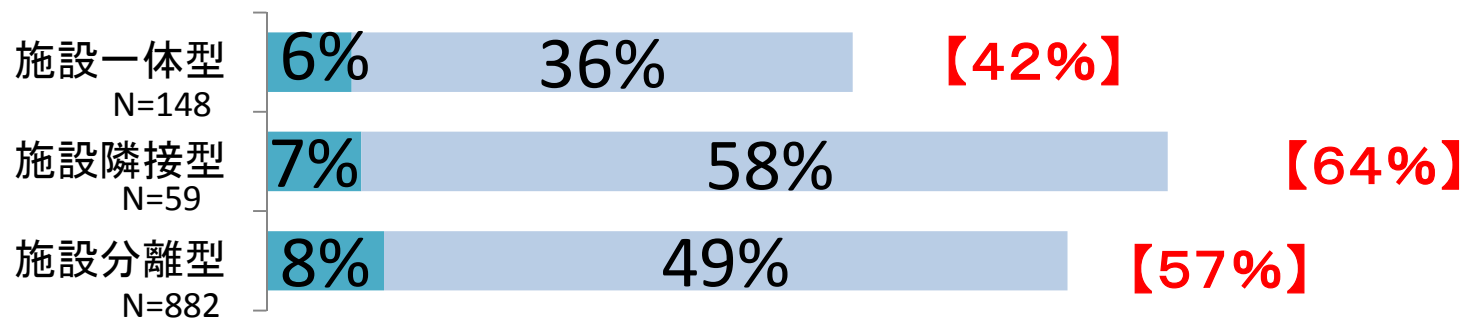


⑥小学生高学年のリーダー性・主体性の育成

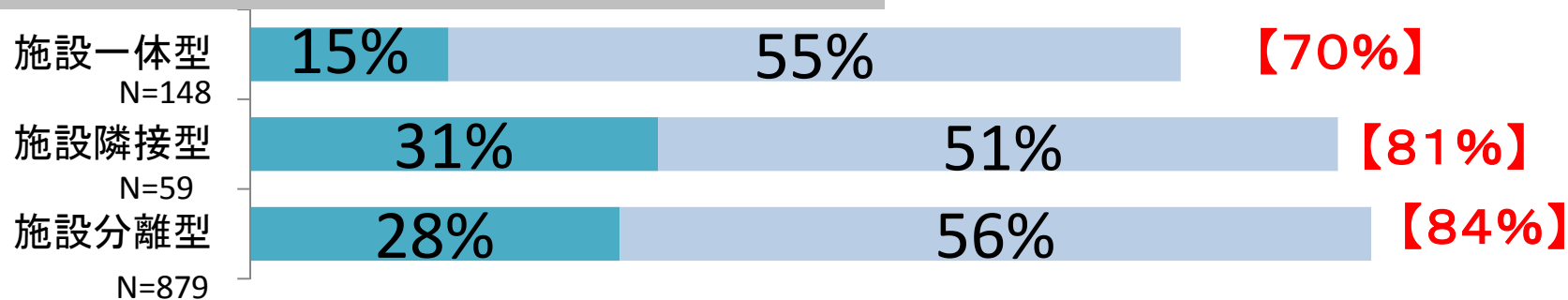


■ 大きな課題あり ■ 課題あり

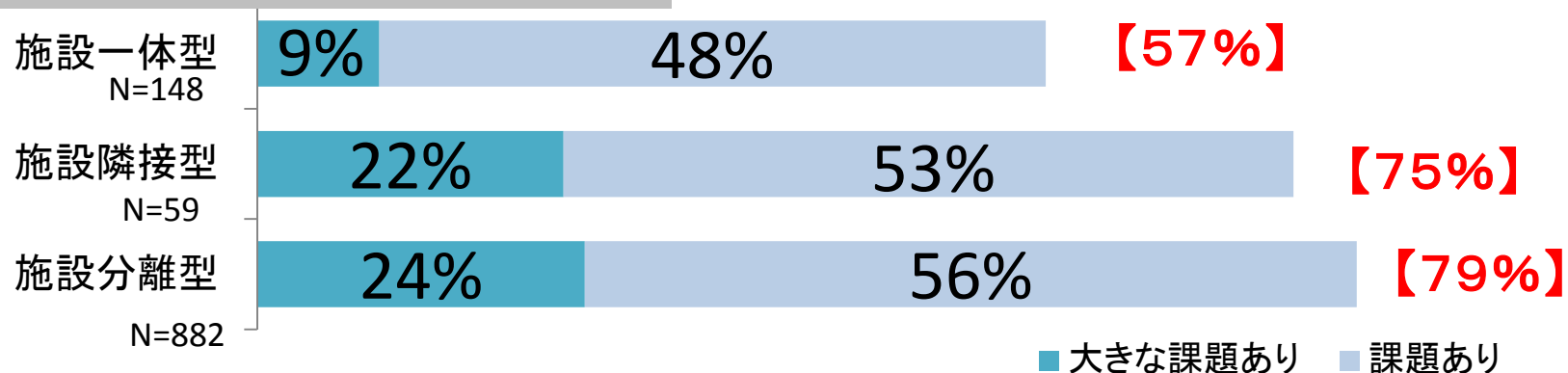
⑦年間行事予定の調整・共通化



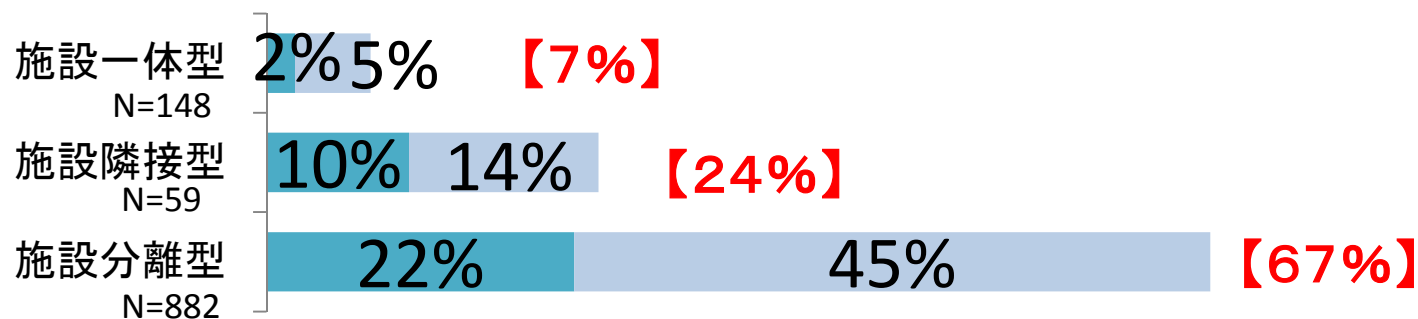
⑧小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保



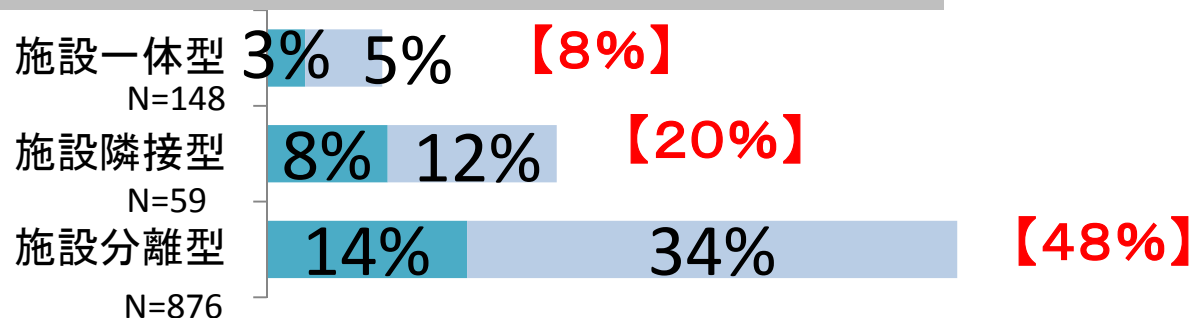
⑨小中合同の研修時間の確保



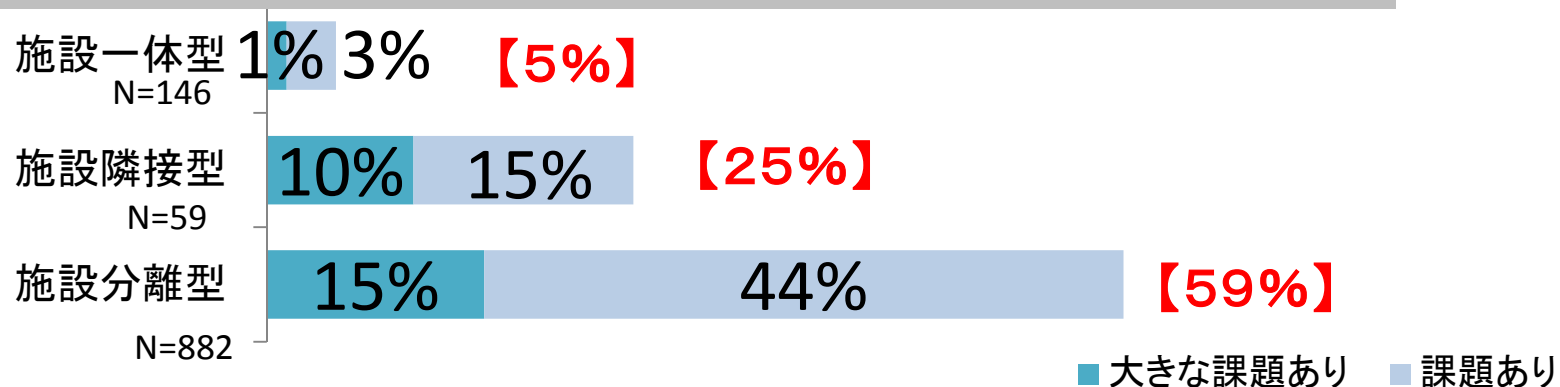
⑩児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



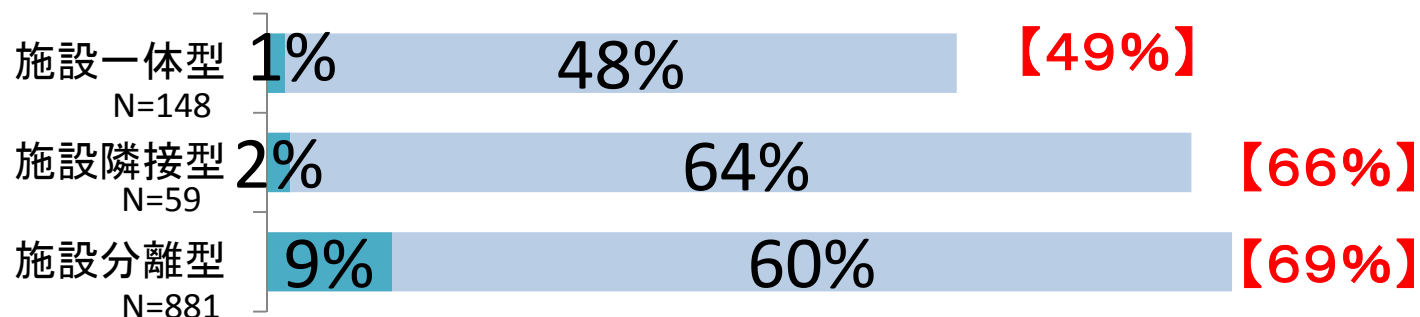
⑪校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



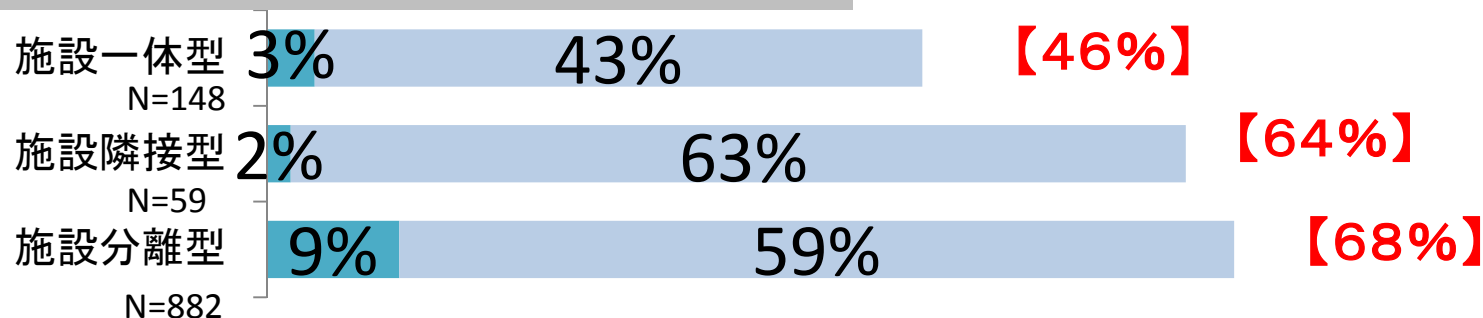
⑫学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



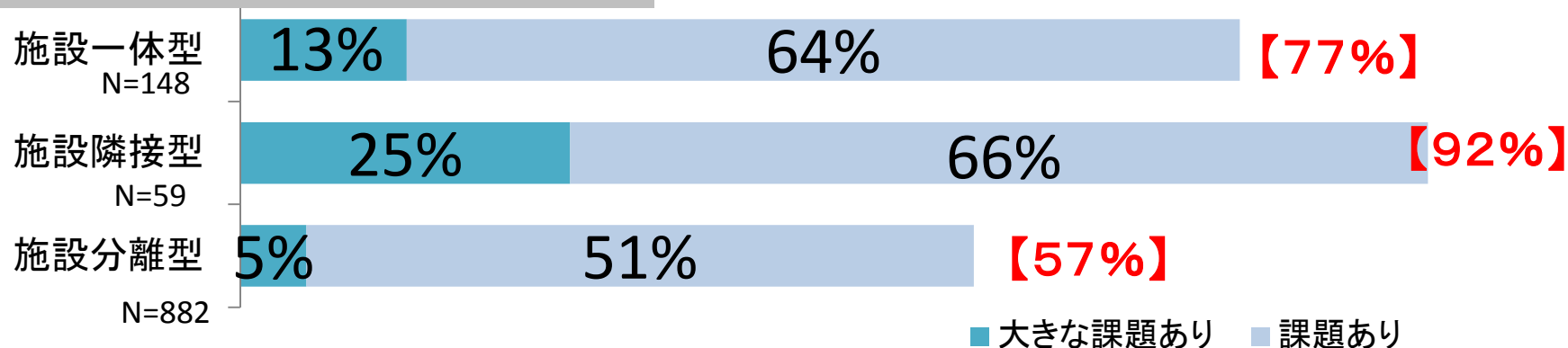
⑬成果や課題の分析・評価手法の確立



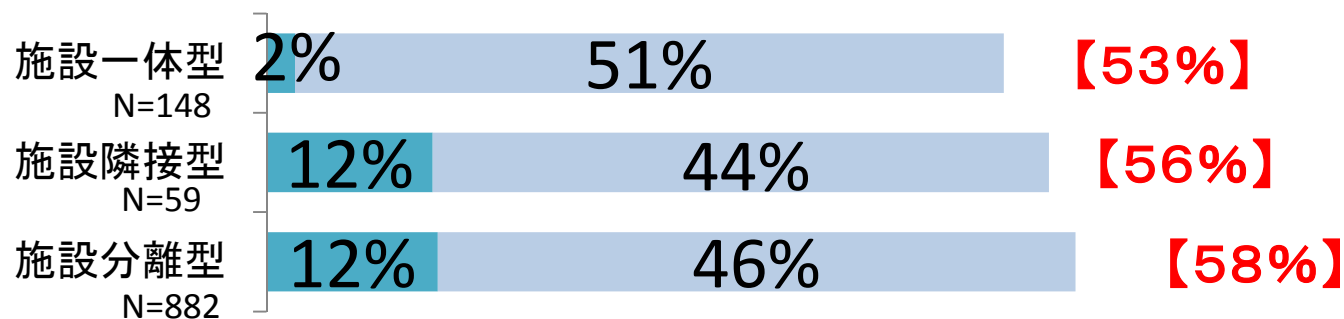
⑭成果・課題の可視化と関係者間での共有



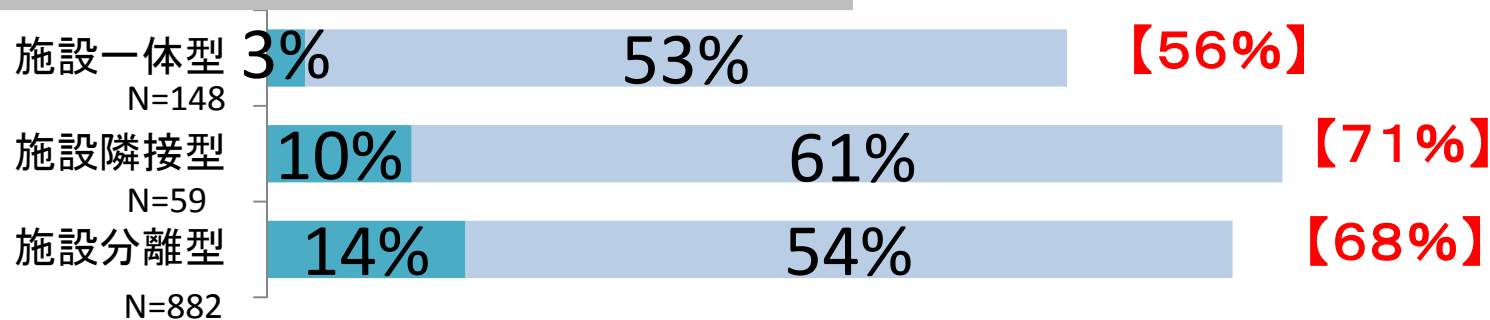
⑮教職員の負担感・多忙感の解消



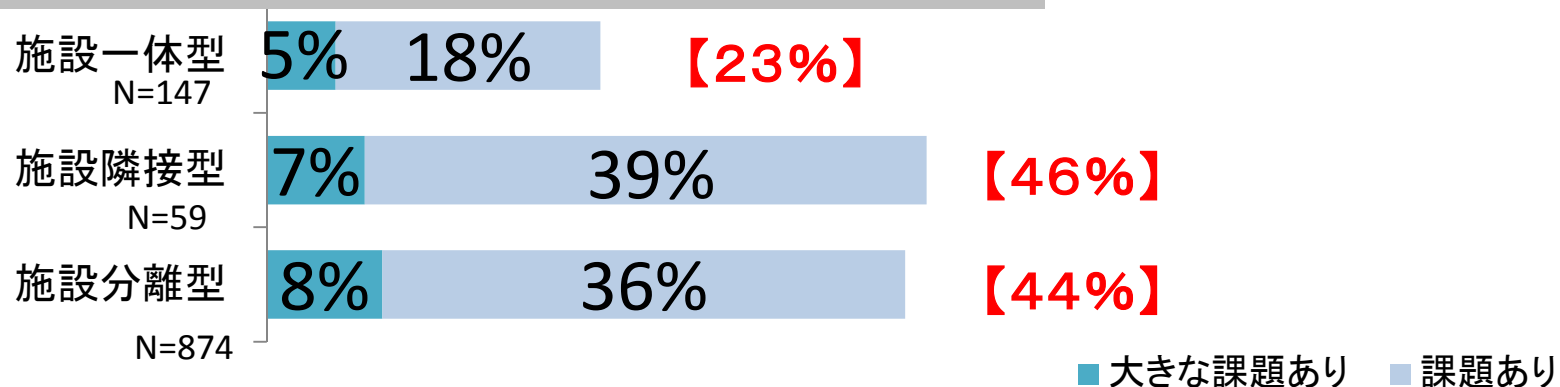
⑩小・中学校間での負担の不均衡



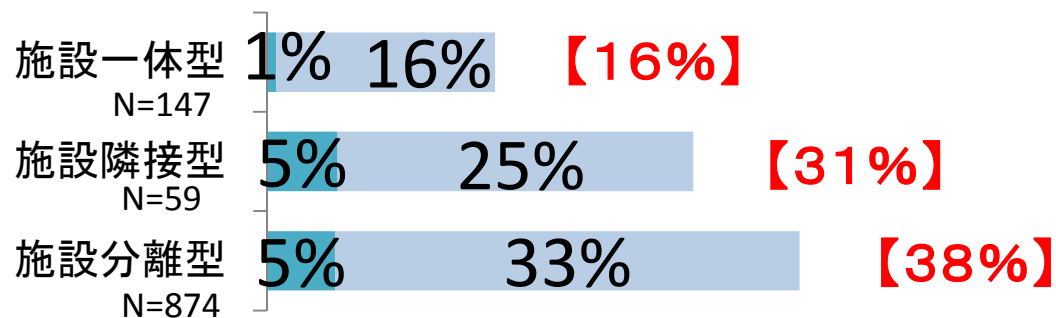
⑪教職員間での負担の不均衡



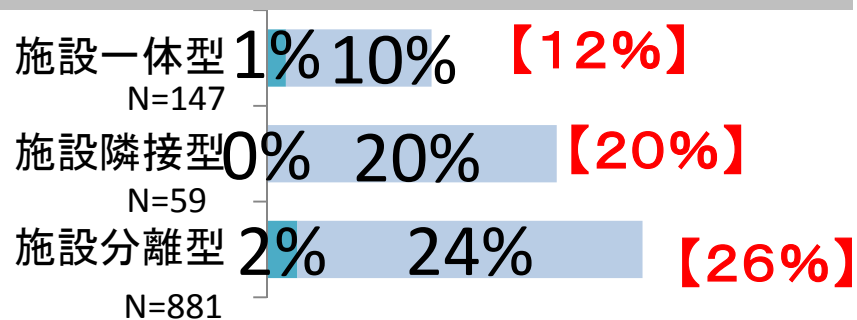
⑫所有免許の関係で兼務発令を拡大できないこと



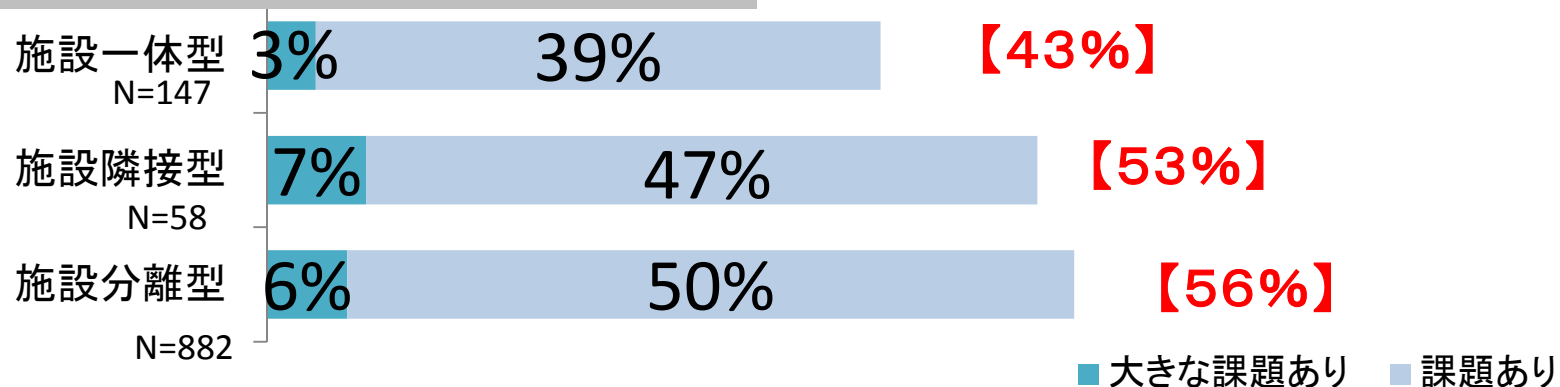
⑱ 兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解



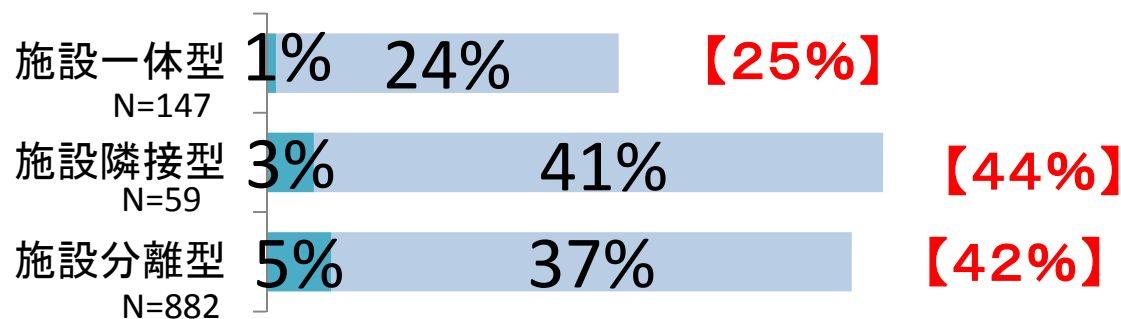
⑳ 小中の管理職間の共通認識の醸成



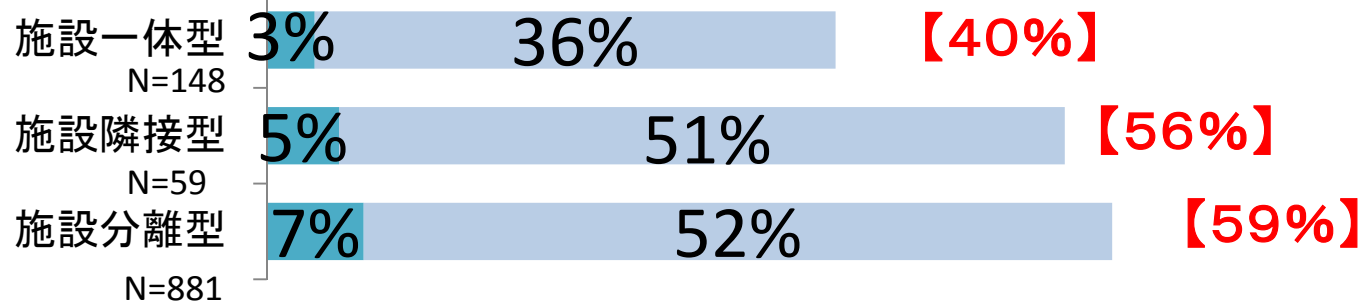
㉑ 小中の教職員間の共通認識の醸成



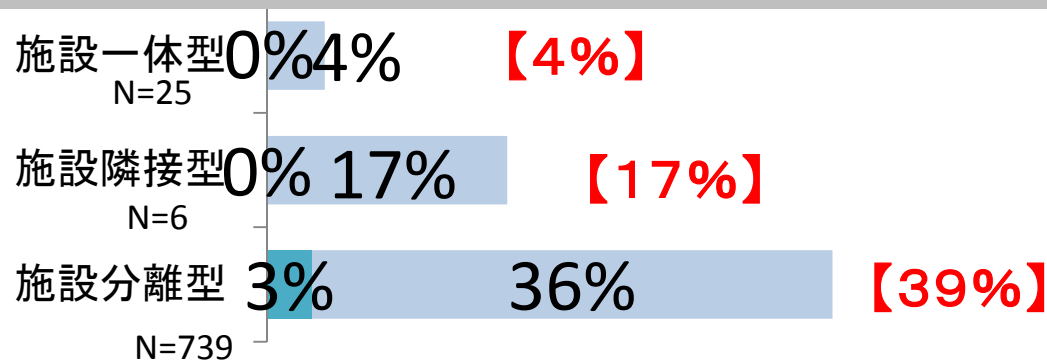
②②小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上



②③小・中学校間のコーディネート機能の充実

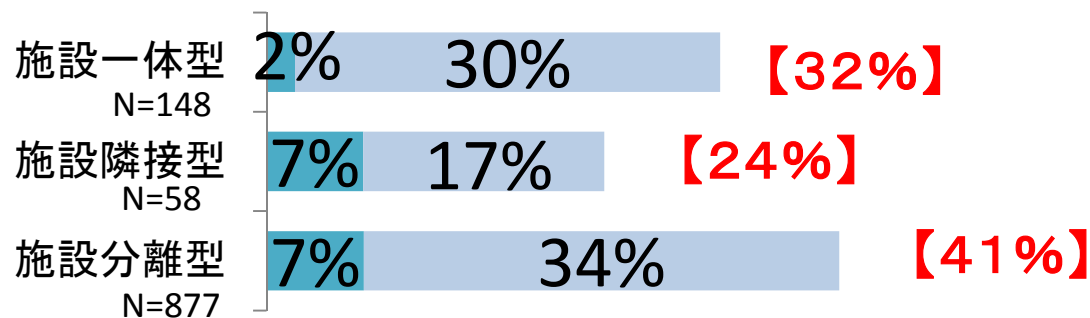


②④同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消

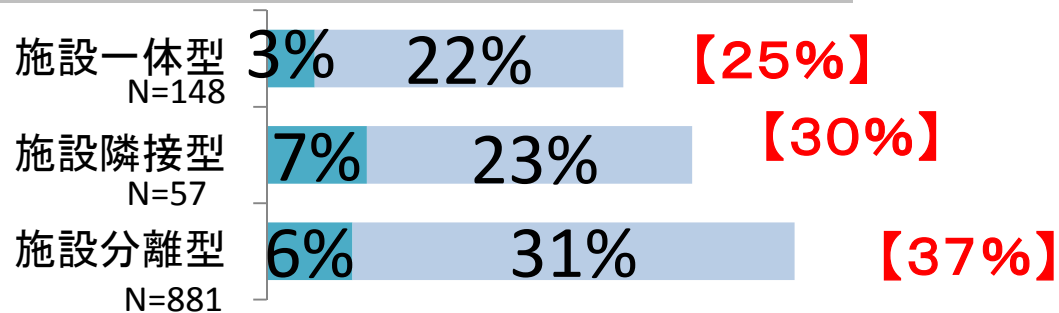


■ 大きな課題あり ■ 課題あり

②⑤ 小学校費、中学校費の一体的な運用(費目の一体化等)



②⑥ 市区町村教委の理解・協力・支援の充実



■ 大きな課題あり ■ 課題あり